

# 平成 23 年度決算付属資料

- I 主要な施策の成果に関する説明書
- II 基金の運用状況を示す書類

武蔵野市



## I 平成 23 年度主要な施策の成果に関する説明書

地方自治法第 233 条第 5 項の規定に基づき、平成 23 年度における主要な施策の成果に関する説明書を提出します。

武蔵野市長 邑上守正



平成 23 年度は、歳入では、個人市民税、法人市民税及び固定資産税の増加により、市税全体で 2.0%の増加となりました。また、国庫支出金、都支出金等も増加となりましたが、繰入金、市債等が減少したことにより、一般会計歳入総額では対前年度比 16 億 9,974 万円、2.7%減の 601 億 1,829 万円となりました。

歳出では、子ども手当や障害者自立支援給付事業などの扶助費の増加、武蔵野プレイス管理運営委託や給食調理業務委託などの物件費の増加はあるものの、人件費や投資的経費の減少などにより、一般会計歳出総額で対前年度比 21 億 6,314 万円、3.7%減の 569 億 7,083 万円となりました。

平成 23 年度は、「地域の力を育み、自治の未来を拓く予算」と位置づけ、第四期長期計画・調整計画の仕上げの年として、施策を推進してまいりました。平成 23 年 7 月に開館した武蔵野プレイスには、1 年間に 140 万人が来館され、大変好評を得ており、新たな公共施設のあり方の一つではないかと考えております。また、市民の健康と子どもたちの健やかな育ちのために、予防接種への公費助成の拡充や市立小中学校への空調設備の設置を行いました。市民とともに平和の大切さを後世に伝えていくため、11 月 24 日を「武蔵野市平和の日」に制定いたしました。一昨年からは、市民委員による策定委員会、公募市民会議、無作為抽出市民ワークショップなど、多様な市民参加を重ねて検討を続けてきた第五期長期計画につきましては、平成 24 年 4 月からスタートいたしました。

以下、主要な施策の成果について申し上げます。

## I 健康・福祉

### (1) 健康で暮らしつづけるための施策

平成 24 年度から計画期間となる健康福祉総合計画では、地域福祉計画、健康推進計画、高齢者福祉計画、介護保険事業計画、障害者計画を一体的に策定しました。(福)武蔵野市民社会福祉協議会による地域福祉活動計画の策定に対する支援と合わせて、929 万円を支出しました。

独居高齢者の数と実態を把握し、高齢者施策の資料とするため、平成 22 年度に実施した訪問調査のデータについて集計と分析を行い、報告書を作成しました。

高齢者訪問相談事業では、独居高齢者調査や生活機能チェックリストの未回答者等を対象に、在宅支援に関する訪問調査を行い、305 万円を支出しました。

子宮頸がん予防、ヒブ、小児用肺炎球菌の各ワクチンの接種費用助成を実施し、1 億 1,447 万円を支出しました。

子宮がん検診、乳がん検診については、受診率向上を図るため積極的な受診勧奨を実施しました。検診の経費として 1 億 2,298 万円を支出しました。

### (2) 就労・自立支援と社会参加の推進

障害者自立支援法に基づき、介護・訓練等給付費、補装具給付費、更生医療費等を支給し

ました。また、市内通所施設の家賃や第三者評価を受審する際の費用助成と、地域自立支援協議会の活動への支援を行いました。これらの経費に19億2,023万円を支出しました。

一般就労を目指す障がい者の増加に対応するため、地域開拓促進コーディネーターによる企業開拓の強化を行うなど、障害者就労支援センターあいの体制の充実に3,493万円を支出しました。

### (3) 地域で支えあう福祉のまちづくり

テンミリオンハウス7カ所においてミニデイサービスや緊急ショートステイ等、地域のニーズに応じた特色ある事業を行い、9,015万円を支出しました。

### (4) 安心して暮らせるまちづくり

災害時要援護者対策事業では、地域社協（福祉の会）、民生委員・児童委員、（福）武蔵野市民社会福祉協議会と協力し、市内全13地区で実施しました。

地域リハビリテーション推進事業につきましては、支援体制作りを目的に、ケアマネジャーへの医療連携研修や福祉施設職員への地域連携研修を行いました。

緊急ショートステイ事業として、介護保険施設のベッドを確保し、延べ29人、265日間のショートステイを実施しました。

家族介護支援事業では、介護家族の交流・情報交換の機会の提供、介護技術講座、家族介護用品の支給など、在宅介護を支援する様々なサービスを実施し、1,577万円を支出しました。

認知症高齢者支援事業では、認知症に対する正しい知識と具体的な対応を普及させるために、啓発、相談事業を行ったほか、ヘルパーの派遣などの見守り支援事業も実施し、851万円を支出しました。

主に就学前の子どもと保護者を支援する「みどりのこども館」では、配慮が必要な子どもの通園施設である「こども発達支援室ウィズ」、子どもの発達に関する全般的な相談事業を行う「地域療育相談室ハビット」、おもちゃを使ってのびのびと親子で遊ぶ地域開放型事業の「おもちゃのぐるりん」の事業を行いました。また、臨床心理士や看護師を増やし、相談体制を充実いたしました。これらの経費として8,686万円を支出しました。

引きこもり当事者とその家族を支援するため、家族セミナーやフォーラムによる啓発事業、相談事業、自立支援プログラムの作成などを行いました。

障がい児の日常生活の充実と、保護者の介護負担を軽減するための放課後活動の場を提供し、2,976万円を支出しました。

### (5) サービスの質の向上と利用者の保護

ケアマネジャー研修センター運営事業として、ケアマネジャーを対象に、知識・スキルの習得を目的とした研修会や、マネジメントに特化した研修会を行いました。

## (6) サービス基盤の整備

介護保険を利用する低所得者に対し、経済的な負担を軽減するため、訪問介護サービス利用料10%のうち5%分を助成したほか、デイサービス等の食費に対して一食あたり200円の助成を行い、3,536万円を支出しました。

## II 子ども・教育

### (1) 子育て支援施策の総合的推進

ひとり親家庭を含めた相談体制と地域子育て支援をさらに充実させるため、平成23年4月に「子育てSOS支援センター」を「子ども家庭支援センター」に改組しました。子育て支援ネットワークにより各機関との連携を進め、相談事業、産前・産後支援ヘルパー事業、養育支援訪問事業等を実施するとともに、児童虐待や子育てに不安を持つ家庭を支援しました。これらの経費として2,849万円を支出しました。

乳幼児及び義務教育就学児医療費助成事業では、乳幼児と義務教育就学児の医療保険診療自己負担分の助成等の経費として4億6,848万円を支出しました。

子育て支援につきましては、「ひろば事業」や「親支援講演会」、「子育てひろば支援者講座」を実施し、738万円を支出しました。

第三次子どもプラン武蔵野の重点事業である保育の質の向上の取り組みについては、保育園カウンセラー等の配置や保育相談員の巡回指導の充実、保育のガイドラインの作成、職員研修等に704万円を支出しました。

平成23年4月に千川保育園と北町保育園の2園を（公財）武蔵野市子ども協会へ移管し、両園の運営及び各保育事業の経費として、4億5,570万円を支出しました。

病児・病後児保育事業につきましては、病児・病後児保育室プチあんず、病後児保育室ラポールにて実施し、1,566万円を支出しました。

### (2) 親子のふれあいと家庭への啓発

子どもの食を家族で考え、乳幼児期から正しい食習慣が定着するよう、家族で手作り・楽しい食卓キャンペーン事業として、「新！武蔵野野菜たんけん隊」を実施しました。

自然体験や農業体験を通して親子の絆を深めるため、鳥取県家族ふれあい体験事業と親子棚田体験事業を実施しました。

### (3) 子育て支援施設の整備

保育所入所待機児童の解消に向けた緊急対策として、賃貸住宅を活用したグループ保育室「みどり」と「さくら」の2施設を開設し、待機児童の解消につながりました。また、グループ保育室「どんぐり」の開設準備を行い、これらの経費に2,353万円を支出しました。

平成25年4月開設予定の境こども園の実施設設計及び建設工事並びに職員体制の整備にかかる経費と、平成25年3月園舎竣工予定の北町保育園移転改築にかかる実施設設計及び建替え

工事の費用を、(公財) 武蔵野市子ども協会に対し補助を行い、合わせて1億4,491万円を支出しました。

#### (4) 学校教育の充実

児童・生徒の学習環境の改善のため、小中学校17校に空調設備を設置し、9億720万円を支出しました。

少人数指導による個に応じた指導や、学習につまずきのある児童・生徒へのきめ細やかな支援として学習支援教室を実施し、2,946万円を支出しました。また、小学校に外国語活動指導助手と理科の専科教員を配置し、1,686万円を支出しました。

セカンドスクールとプレセカンドスクールにつきましては、合わせて1億1,433万円を支出しました。

学校図書館の運營業務と蔵書管理の効率化、利活用を図るため、小中学校全校の学校図書館システムを更改し、616万円を支出しました。

小中学校全校のパソコン教室の機器を更改するとともに、書画カメラ、電子黒板等を導入し、学校ICT環境の充実を図りました。これらの経費として4,542万円を支出しました。

教育支援センター、学校、子ども家庭支援センター等の関係機関が連携を強化し、いじめ・不登校・発達障がいなどの相談に対応しました。また、地域の支援員が不登校傾向にある児童の登校支援を行いました。これらの教育相談事業に7,299万円を支出しました。

特別支援教育推進事業として、専門家スタッフやティーチングアシスタント、サポートスタッフなどの学校支援人材を派遣し、1,087万円を支出しました。

特別支援学級は、小学校4校と中学校4校にて運営を行っています。第二中学校こぶし学級を本校舎内に移転し、教育環境の整備を行いました。運営にかかる経費として、1億2,527万円を支出しました。

小中学校全校の給食調理業務を(一財)武蔵野市給食・食育振興財団へ全面的に移行し、6億3,717万円を支出しました。

#### (5) 青少年施策の充実

武蔵野市ジュニア交流団派遣事業として、アメリカ合衆国テキサス州ラボック市へ中学生16人を派遣し、市内見学や異文化学習、ホームステイを通して国際交流と相互理解を深めました。派遣事業に368万円を支出しました。

中国との相互交流事業では、北京市月壇中学青少年交流団の中高校生10人を受け入れ、ホームステイ、武蔵野北高校での生徒交流等を実施し交流を深め、この経費として122万円を支出しました。

韓国との相互交流事業については、大韓民国忠州市へ中高校生8人を派遣し、韓国文化体験、現地の青少年との交流、ホームステイなどを通じた国際交流を行いました。また、ソウル特別市江東区からは中高校生12人の訪問団が来訪し、ホームステイ等を実施しました。これらの経費として176万円を支出しました。

ハバロフスク市青少年交流事業では、ハバロフスク市より 12～18 歳の青少年 12 人の交流団を受け入れ、市内・都内見学やホームステイなどを実施し、358 万円を支出しました。

むさしのジャンボリー事業は 40 周年を迎えました。従来のキャンプに加えて、記念式典とパネル展を実施し、合わせて 1,399 万円を支出しました。

境冒険遊び場公園プレーパークの利用者は増加しており、来場者数は年間延べ 13,569 人になりました。この経費として 977 万円を支出しました。

地域子ども館事業は、学校施設を利用した地域の居場所・遊び場として、延べ 427,516 人の児童の参加があり、この経費として 1 億 2,447 万円を支出しました。

学童クラブ事業では、本宿こどもクラブの校内移転を実施し、すべての学童クラブについて校内及び隣接地への移転が完了しました。併せて土曜日開所の試行と地域子ども館あそべえとの連携を進めました。これらの経費として 2 億 129 万円を支出しました。

## (6) 生涯学習施策の拡充

平成 23 年 7 月に「ひと・まち・情報 創造館 武蔵野プレイス」が開館し、初年度の来館者数は約 100 万人となりました。図書館、生涯学習支援、市民活動支援、青少年活動支援の 4 つの機能を持つ複合施設の管理運営と各種事業に 4 億 4,633 万円を支出しました。

武蔵野プレイスの開館に伴い図書の実を図るとともに、平成 23 年 8 月には武蔵野市子ども読書活動推進計画を策定しました。としょかんこどもまつり、むさしのブックスタート、子ども文芸賞等、保護者や子どもたちへの読書推進活動を実施しました。これらに 1 億 3,826 万円を支出しました。

広く小中学生に科学の不思議さ、面白さを体験する機会をつくることで学ぶ意欲の向上を図る「むさしのサイエンスフェスタ」を実施し、104 万円を支出しました。

土曜学校事業では、小・中学生を対象として、学校休業日の土曜日に学校の授業ではなかなか学べない体験活動を中心とした 19 のプログラムを実施し、248 万円を支出しました。

## Ⅲ 緑・環境・市民生活

### (1) 持続可能な都市の形成

二酸化炭素排出削減行動助成事業として、住宅用の太陽光利用設備や高効率給湯設備の設置費用の一部を助成し、3,119 万円を支出しました。

市域 CO2 排出削減推進事業については、環境啓発イベントとしてむさしの環境フェスタの開催に 468 万円を支出しました。

第二中学校等の公共施設に太陽光発電システムを設置し、2,838 万円を支出しました。

市庁舎東棟及び南棟の階段とロビーの照明を省エネ照明に交換し、680 万円を支出しました。また、各公共施設のエネルギー使用状況の把握や、改修面及び運用面での省エネの行程表の作成を行い、499 万円を支出しました。

ごみの減量と発生抑制のため、フリーマーケット、青空市などを市民団体と協働して実施

し、これらの経費として147万円を支出しました。

クリーンセンターの焼却施設、粗大ごみ処理施設等の点検整備工事と、計画的な改修工事を行い、6億3,845万円を支出しました。

平成29年度に稼働を予定している新武蔵野クリーンセンター（仮称）については、施設基本計画を策定し、この計画に則して事業者選定委員会を設置し、事業者選定に向けた準備や検討を進めました。また、新施設の建築デザインや配置・動線等を検討しました。環境啓発事業や生活環境影響調査等を実施し、合わせて1億4,133万円を支出しました。

## （2）緑豊かな都市環境の創出

第一期長期計画以来、緑のネットワーク計画を掲げ、緑豊かなまちづくりを進めており、吉祥寺北緑地の用地買収及び新設、三谷公園の用地買収、はなもみじ公園の拡充ほか10か所の公園の改修工事などに、10億6,763万円を支出しました。

市立公園等を拠点として、緑の保全、緑化推進及び公園等の維持を行う市民のボランティア団体の活動に対して300万円の助成を行いました。

## （3）身近な自然の回復と保全

仙川水辺環境整備工事については、自然護岸の新設・改修工事や維持管理を行い、9,375万円を支出しました。また、仙川水辺環境整備に伴う橋りょうの撤去と新設に2,954万円を支出しました。

千川上水整備事業については、散策路の親水施設の整備に関する実施設計を委託し、299万円を支出しました。

民有地の緑を守る一環として、保存樹木、保存生垣制度を設け、助成金を交付したほか、樹木医の派遣、自然災害等の影響度についての現況調査を実施しました。これらの経費として829万円を支出しました。

## （4）農業の振興

認定農業者の経営改善計画の達成を支援する事業として、経営改善に要する事業費の一部を補助し、253万円を支出しました。

市と農地の保存協定を結んだ農家に対し、農業近代化のための施設整備や農機具購入費用の一部を補助する事業として、190万円を支出しました。

市民農園については、新たに1箇所を開設し、市内9箇所727区画となりました。維持管理費として865万円を支出しました。

## （5）商工業の振興

勤労者等の福利厚生のため、勤労者互助会の福利厚生事業、退職金共済掛金補助事業、30周年記念事業等に2,187万円の補助金を交付しました。

東京都の新・元気を出せ商店街事業費補助金を活用し、商店街支援事業としてイベントの

実施などに対し、3,595万円を支出しました。

商店会が保有している装飾街路灯等の維持管理の経費を一部補助することにより、商店会活動への支援と来街者の安全確保を図りました。

地域の商店会の活性化と組織力の強化を目的に、商店会自らが企画提案する事業に対し支援を行う企画提案型事業補助事業を創設し、880万円の補助金を交付しました。

## (6) 都市観光の推進

平成22年度に設立した観光推進機構の運営事業については、観光推進委員会や各事業委員会の運営、観光情報の収集と発信、フィルムコミッション事業の立上げとして、3,002万円を支出しました。

## (7) 真に豊かな消費生活の推進

消費生活センターでは、相談や講座、消費者団体への助成、キャンペーンなどを実施しました。また、相談体制の充実に向けて、相談員を専門研修に派遣しました。これらの経費として2,210万円を支出しました。

## (8) 防犯性の高い快適なまちづくり

吉祥寺駅周辺の繁華街における体感治安の改善事業として、南口パークロードに新たに防犯カメラを設置し、東部地区には既設のカメラの更新と増設をしました。環境浄化の啓発キャンペーン等と合わせて、1,523万円を支出しました。

ホワイトイーグル及び市民安全パトロール隊による安全パトロール、ブルーキャップによるつきまとい勧誘等の指導と市民との環境浄化推進特別パトロール、市民安全大会などの安全対策を実施し、1億232万円を支出しました。

公害に関する相談や市内環境の保全、工場や指定作業場などへの指導等を実施しました。

東日本大震災の影響を受け、放射線・放射性物質に関する対策として、空間放射線量測定、土壌中放射性物質分析調査、水質検査、学校給食食材放射性物質検査などを行い、2,831万円を支出しました。

## (9) 防災態勢の強化

武蔵野消防署境出張所の移転・改築に先立ち、移転先となる赤十字公園内の更地化を行い、1,137万円を支出しました。

消防団ポンプ車を2台購入し、機能や装備の向上により、さらなる防災体制の強化を図りました。

各学校の防災倉庫の備蓄機能を維持するため、第五小学校、第六中学校及び武蔵野北高校の屋外備蓄倉庫を改修しました。また、大野田小学校にマンホール式の災害用トイレを設置し、これらの経費として1,683万円を支出しました。

市内の降雨状態等を的確に把握するため、市庁舎屋上等に設置している気象観測システム

の機器更新に 154 万円を支出しました。

#### (10) 市民活動の活性化と協働の推進

コミュニティセンターの管理運営を 16 のコミュニティ協議会に委託し、館の維持管理等を行い、2 億 8,395 万円を支出しました。

八幡町コミュニティセンターの建て替えについては、実施設計、各種調査のうえ工事に着手し、8,561 万円を支出しました。

#### (11) 男女共同参画社会の実現

男女共同参画推進市民会議を設置し、第二次男女共同参画計画の推進状況の確認と課題解決に向けた検討を行いました。むさしのヒューマン・ネットワークセンターについては、各種事業を実施するとともに、推進拠点としてのセンターの機能と管理体制等の課題整理を進めました。情報誌「まなこ」の発行、ワーク・ライフ・バランス講演会や男女共同参画推進団体の活動支援等を実施し、これらの経費に 1,451 万円を支出しました。

#### (12) 都市・国際交流の推進

(公財) 武蔵野市国際交流協会が実施する在住外国人に対する日本語教室・相談事業や、在住外国人との交流をはじめとする市民レベルの国際交流活動を支援するため、運営補助金 6,621 万円を交付しました。

友好都市交流事業として、安曇野市、遠野市、南房総市への市民ツアーを行うとともに、南砺市、安曇野市からの市民交流団を受け入れました。遠野市へのツアーは被災地支援を含めたものとして実施し、都市と地方の交流として、市民間の交流を深めてまいりました。

設立 10 周年を迎えたアンテナショップ麦わら帽子を拠点に、都市と地方、消費者と生産者をつなぎながら、交流と親善を深めるとともに、地元商店街の活性化を図りました。運営費として 493 万円を支出しました。

#### (13) 生涯スポーツの振興

総合体育館につきましては、選手や観客の環境向上と第 68 回国民体育大会・第 13 回全国障害者スポーツ大会の円滑な運営のため、メインアリーナに空調設備を設置し、床の改修や音響設備と電光掲示板等の改修をしました。サブアリーナの床の改修も行い、合わせて 1 億 8,508 万円を支出しました。また、競技会に向けてイベントの実施や啓発活動を行い 139 万円を支出しました。

#### (14) 特色ある市民文化の発展と平和施策の推進

平和施策懇談会の提言を受け、11 月 24 日を「武蔵野市平和の日」に制定し、記念事業として講演会や植樹を行いました。また、長崎市の中学生等を招待して平和学習発表会を開催したほか、武蔵野の空襲や広島・長崎の被爆などのパネル展や講演会を行いました。

武蔵野プレイスの開館に合わせて、施設やチケットの予約をインターネットでできるよう文化施設・体育施設の予約システムを更新し、利便性の向上を図りました。

## Ⅳ 都市基盤

### (1) 地域の特色を活かすまちづくりの推進

高さ制限の導入については、都市計画マスタープランにおける都市構造、土地利用、景観まちづくり等の方針に即し、地域特性を考慮した高度地区による高さ制限の検討を進め、平成24年2月に基本方針（案）を公表するとともに、説明会の実施と意見募集を行いました。

景観道路事業については、市道第308号線の電線共同溝工事と、市道第151号線の電線類地中化に関する詳細設計の経費として1億474万円を支出しました。

### (2) 利用者の視点と発想を重視するまちづくり

環境舗装事業として、生活道路改修の際に透水性舗装を施工し、雨水の流出抑制や地下水涵養を行い、1億9,839万円を支出しました。

ユニバーサルデザインの考え方にに基づき、歩行者用の公共サインの統一性を図ることを目的とし、武蔵野市公共サインガイドラインを策定し、299万円を支出しました。

### (3) 上水道の整備・充実

平時はもとより、災害時にも安全でおいしい水の安定供給を確保するために、配水管網の新設工事や耐震継手管への改良工事などに4億3,421万円を支出しました。また、円滑で効率的な水運用のため、経年劣化した浄水場施設の配水ポンプの更新工事を行うとともに、安定的な取水量を確保するために深井戸の更生工事を実施し、1億7,536万円を支出しました。

### (4) 下水道の再整備

下水道施設の老朽化対策を円滑に進めるため、施設の健全度に関する点検及び調査結果に基づき、下水道長寿命化計画を策定しました。

善福寺川流域の水環境等の向上並びに下流域の浸水被害低減を図るため、吉祥寺東町四丁目地内に貯留規模1,200 m<sup>3</sup>の合流式下水道改善施設築造工事に着手しました。また、吉祥寺東町一丁目地内では、本体工事前の防音壁設置工事を行い、これらに2億9,983万円を支出しました。

大雨による浸水被害の軽減を図るため、第一小学校に500 m<sup>3</sup>の雨水貯留浸透施設を設置し、4,915万円を支出しました。

### (5) 道路ネットワークの整備

突発的な豪雨などにより八丁地下道が冠水する際に備えて、道路利用者へ注意喚起ができるよう警報表示板を設置し、1,134万円を支出しました。

道路新設改良事業では、三鷹駅北口駅前広場における公共交通利用者の安全性の向上を図るため、意見交換会やアンケート調査を行い、歩道の拡幅や視覚障がい者誘導用ブロックの設置をし、歩行者と自動車の動線の交錯を改善いたしました。その他、経年劣化した主要道路等の改修整備を行い、これらの経費として3億3,375万円を支出しました。

武蔵野プレイスの開館に合わせて、都市計画道路3・4・27号線の暫定整備工事を行いました。

都市計画道路7・6・1号線（御殿山通り）事業については、玉川上水沿いの三鷹橋～むらさき橋間の用地買収及び仮整備と、事業化に向けた電線共同溝の詳細設計を行いました。これらの経費として1億1,205万円を支出しました。

事業進捗中の区画道路13路線の用地買収を行い、市道第16号線と市道第79号線等については道路用地の測量及び仮整備を行いました。これらの経費として8,834万円を支出しました。

## （6）安全で円滑な交通環境の整備

境南第4自転車駐車場の閉鎖に伴い、武蔵境駅周辺の鉄道高架下に暫定自転車駐車場を整備しました。既存の施設を含めて、収容台数は自転車3,831台、原動機付自転車148台を確保し、経費として272万円を支出しました。また、吉祥寺駅周辺自転車放置防止の強化として、吉祥寺大通り等の歩道上に放置防止指導員を重点的に配置しました。

ムーバスは前年度を上回る延べ262万人の方にご利用いただきました。ムーバスの運行とムーパークの運営に9,051万円を支出しました。また、武蔵野市地域公共交通総合連携計画に基づき、公共交通機関で一般化されている交通ICカードが使用できるよう改良を行い、2,169万円を支出しました。

## （7）住宅施策の総合的展開

高齢者世帯の住宅を子育て世帯へ誘導するなど、高齢者や子育て世帯への居住支援を図るため、（財）武蔵野市開発公社に住み替え支援受付窓口を開設し、142万円を支出しました。

## （8）住宅とまちの防災対策の推進

市内住宅の耐震化を促進するため、民間住宅耐震診断助成事業として耐震診断を行う所有者に対して費用の一部を助成しました。また、民間住宅耐震改修助成事業では、耐震診断結果に基づいて行う耐震改修の費用の一部を助成し、合わせて1,896万円を支出しました。

## （9）吉祥寺圏の都市基盤整備

吉祥寺のまちづくりの一環として物流対策に取り組んでいる「吉祥寺方式物流対策委員会」の自立と継続的な活動に対し支援を行いました。荷さばきルール徹底週間を地元事業者等とまちぐるみで実施し、これらの経費として116万円を支出しました。

## (10) 中央圏の都市基盤整備

三鷹駅北口地区における地域の活性化、低・未利用地の適切な土地利用の促進、交通環境の改善など、都市の機能に関する再整備の方針を検討するための基礎資料を作成し、199 万円を支出しました。

## (11) 武蔵境圏の都市基盤整備

連続立体交差事業については、駅舎工事と側道を施工中であり、事業主体の東京都に対する負担金、側道の用地取得費等として4億9,501万円を支出しました。

都市計画道路3・3・23号線事業では、武蔵境駅北口の安全かつ円滑な交通環境の実現と武蔵境駅らしい駅前空間を創出するため、関係機関との協議、基本計画の作成、まちづくり説明会等を行い、これらの経費として599万円を支出しました。

武蔵境地区区画道路整備事業としましては、市道291号線の電線共同溝及び道路整備工事を行ったほか、市道261号線（グリーンモール）東側の旧五宿踏切交差点信号機設置に伴う安全施設の改修工事を行い、3,372万円を支出しました。

武蔵境駅周辺環境整備事業では、駅舎連続施設（北側）、南側コーナー屋根、高架下屋根の新築に伴う、詳細設計及び建築許可申請を行いました。また、武蔵境駅舎・広場・街づくり協議会への側面支援を行いました。これらの経費として、700万円を支出しました。

都道123号線境調布線の拡幅整備事業については、引き続き東京都の「新みちづくり・まちづくりパートナー事業」を活用し事業を進めました。南北の継続路線では、鉄道高架下区間に電線共同溝の設置工事を行い、東西の新規路線については、道路拡幅予定地の用地測量及び道路予備設計を実施し、2,311万円を支出しました。

# V 行・財政

## (1) 市民パートナーシップの積極的推進

市民の声を聴き市政に反映するため、市民と市長のタウンミーティングを実施しました。地域別を3回、テーマ別を2回、テーマも参加も自由な青空タウンミーティングを1回開催しました。

平成19年に策定した武蔵野市NPO活動促進基本計画の見直しを行い、様々な市民活動を対象とした市民活動促進基本計画を策定しました。策定委員会の開催のほか、市民活動団体実態調査、市民ヒアリングなどを実施し、553万円を支出しました。

行政との協働や、NPO・市民活動団体同士の協働・交流等を促進するための事業を実施し、経費として432万円を支出しました。

## (2) 市民ニーズに応えるサービスの提供

国民健康保険税収納管理については、情報セキュリティの強化及び市民からの問い合わせ対応等のサービス向上を図るためにシステム改修を行い、1,146万円を支出しました。

### (3) 積極的な情報発信と情報セキュリティの徹底

市公式ホームページについては、見やすさ・分かりやすさ、利便性の向上、災害・重大情報の提供などを目的として再構築を行い、平成 23 年 8 月にリニューアルしました。10 月には「むさしのキッズページ」を開設し、ホームページの運営費と合わせて 946 万円を支出しました。さらに、防災情報および安全情報を登録者に電子メールで配信するサービスを開始しました。

### (4) 健全な財政運営の維持

事故を未然に防ぐ安全対策を行う公共施設改良保全整備については、エレベーター地震時の閉じ込め防止工事、高齢者施設火災予防対策工事、保育園・中学校の防火シャッター挟まれ防止工事を実施し、5,430 万円を支出しました。

施設の機能維持と延命化を図る公共施設保全整備については、劣化調査に基づき、市庁舎、市民文化会館、消防分団などで実施し、5 億 739 万円を支出しました。

### (5) 時代の変化に対応する柔軟な行政運営

例規類集・要綱集管理システムについては、職員の法務能力の向上、業務の円滑化、市民サービスの向上を図るため、システムの入替えを行い、796 万円を支出しました。

多様な市民参加・議員参加・職員参加を経て、市政運営の基本指針となる第五期長期計画を策定しました。策定後には、無作為抽出市民ワークショップに参加された方を対象に、計画の内容を紹介するとともに、「コミュニティ・地域のあり方」、「自治のあり方」をテーマにワークショップを行いました。これらの経費として、850 万円を支出しました。

住民記録・税・国民健康保険等の住民情報系システムについて、業務やシステムの最適化を図るため再構築に着手し、1,418 万円を支出しました。

市の業務を見直し、ワークシェアリングと求職者の生活支援を目的に市民の雇用を創出するという観点から、職員の定数適正化計画の実施とあわせ、中高年齢者及び障がい者を対象として 33 課で 212 人の嘱託職員を任用しました。また、本市独自の緊急雇用対策としては、11 課で 18 人の嘱託職員を任用し、合わせて 6 億 1,724 万円を支出しました。

今後 30 年の市の方向性を見据え、職員が地域をコーディネートする力、市を経営する力を養うため、各職位が果たすべき役割と求められる能力を明確にし、人材育成と働きやすい職場づくりのための取り組みについて、実施方針と実施計画からなる人材育成基本方針を策定しました。

## 平成 23 年度主要な施策の概要と成果一覧

### I 健康・福祉

#### 1 健康で暮らし続けるための施策

(金額欄における予算は当初予算を計上)

No.	事業名	金額(千円)	施策の概要と成果
1	健康福祉総合計画・地域福祉活動計画の策定  [生活福祉課]	予算 9,762 決算 9,285	平成 24 年度から計画期間となる健康福祉総合計画を策定した。策定委員 27 人により、全体会 3 回を含む延 19 回の会議、シンポジウム・市民意見交換会を各 1 回開催した。また、(福)武蔵野市民社会福祉協議会による地域福祉活動計画の策定に対し支援を行った。
2	独居高齢者実態調査  [高齢者支援課]	予算 2,066 決算 525	独居高齢者の数と実態を把握し、高齢者施策の資料とするため、平成 22 年度に実施した民生委員・児童委員の訪問調査のデータについて集計と分析を行い、報告書を作成した。
3	高齢者訪問相談事業  [高齢者支援課]	予算 3,500 決算 3,045	独居高齢者調査や生活機能チェックリストの未回答者等を対象に、在宅支援の必要性の確認のための訪問調査を緊急雇用促進事業を活用して実施した。 未回答者 1,984 人に対して実施し、1,176 人に面談を行いチェックリストを回収した。支援が必要にも関わらず自ら相談しない高齢者、どこに相談したらよいかわからない高齢者等、26 人を相談機関へ繋いだ。
4	子宮頸がん等ワクチン接種事業  [健康課]	予算 141,562 決算 114,472	平成 23 年 1 月より任意接種の子宮頸がん予防、ヒブ、小児用肺炎球菌の各ワクチンの接種費用助成を実施した。今年度の子宮頸がん予防は市内在住の中 1～高 2 の女子を対象に接種回数 3 回、ヒブ、小児用肺炎球菌は市内在住の生後 2 か月～5 歳未満を対象に 1～4 回の接種を行った。 【子宮頸がん予防】 助成額 14,439 円(自己負担 1,500 円)／回、延接種者数 2,345 人 【ヒブ】 助成額 8,052 円(自己負担 800 円)／回、延接種者数 3,997 人 【小児用肺炎球菌】 助成額 10,267 円(自己負担 1,000 円)／回、延接種者数 4,500 人
5	乳・子宮がん検診  [健康課]	予算 140,967 決算 122,984	平成 22 年度より国の指針に合わせ、2 年に 1 度の受診に変更した。子宮がん検診については直接医療機関に受診する方式とし、昨年度受診していない方全員に勧奨を行った。乳がん検診は、毎月受診することができるようにした。 【受診者数】 ・子宮がん検診 7,640 人 ・乳がん検診 2,456 人(女性特有のがん検診含む)

#### 2 就労・自立支援と社会参加の推進

6	障害者就労支援センターあいの充実  [障害者福祉課]	予算 34,926 決算 34,926	一般就労を目指す障がい者の増加に対応するため、地域開拓促進コーディネーターによる企業開拓を強化するとともに、登録者への支援体制を充実させた。 登録者 246 人、就職者 27 人、庁内実習 4 人、セミナー参加者 122 人
7	障害者自立支援給付事業(放課後対策分は除く)  [障害者福祉課]	予算 1,836,902 決算 1,920,230	障がい者の地域での自立と共生を目指して、障害者自立支援法に基づく給付費(介護・訓練等給付費、補装具給付費、更生医療費等)の支給や、市内通所施設の家賃、第三者評価受審費等の助成を行いサービスの向上を図った。また、地域自立支援協議会の活動への支援も行った。

### 3 地域で支えあう福祉のまちづくり

8	テンミリオンハウス事業  [高齢者支援課]	予算	92,946	市内7カ所にあるテンミリオンハウスでミニデイサービスや緊急ショートステイ等、地域のニーズに応じた特色ある事業を展開した。 ①川路さんち 開所日数233日 延利用人数2,542人 ②月見路 開所日数291日 延利用人数4,241人 ③関三倶楽部 開所日数355日 延利用人数(ティ) 752人 (ショト) 441人 ④そ~らの家 開所日数254日 延利用人数3,998人 ⑤きんもくせい 開所日数302日 延利用人数5,944人 ⑥花時計 開所日数251日 延利用人数(高齢者)4,561人 (乳幼児)1,709人 (児童)257人 ⑦くるみの木 開所日数300日 延利用人数5,753人
		決算	90,154	

### 4 安心して暮らせるまちづくり

9	災害時要援護者対策事業  [生活福祉課]	予算	1,746	市内全13地区で事業を実施した。新規3地区と追加5地区で支援者探しを実施し、5地区で更新作業(民生委員・児童委員個別訪問終了)を行った。
		決算	1,610	
10	被保護世帯援護事業  [生活福祉課]	予算	3,829,987	生活保護法にもとづく各種給付を行った。前年度に比べ被保護世帯・人員は、90世帯98人増加した(前年度3月末比)。延世帯数…20,329世帯、延人数…65,443人
		決算	3,841,598	
11	家族介護支援事業  [高齢者支援課]	予算	19,350	家族介護者の負担を軽減し、在宅での介護を支援するため、介護家族の交流・情報交換の機会の提供、介護技術講座、はいかい探索システムの貸与、家族介護用品(おむつ)の支給などを実施した。 ・介護家族支援プログラム 実施回数164回 ・介護技術講座 延参加者数39人 ・はいかい高齢者等探索事業 設置台数14件 ・家族介護用品の支給 延件数1,428件 ・家族介護慰労金支給事業 支給件数2件
		決算	15,769	
12	地域リハビリテーション推進事業  [高齢者支援課]	予算	680	すべての市民が住み慣れた地域で安心した生活を送るための支援体制作りを目的に、支援従事者への医療連携等の研修を実施した。 ①ケアマネジャーを対象とした医療連携研修 ・7日間、研修修了者37人 ②福祉施設職員を対象とした地域連携研修 ・特別養護老人ホーム職員を対象、3日間、143人参加 ・通所事業所職員を対象、1日間、35人参加 ・居宅介護支援事業所管理者を対象、1日間、56人参加
		決算	407	
13	引きこもりサポート事業  [障害者福祉課]	予算	4,807	引きこもり当事者とその家族を支援するため、電話や訪問による相談事業、自立支援プログラムの作成、啓発事業等を実施した。 【相談件数】来所598件、電話74件、訪問20件 【啓発事業】家族セミナー8回(参加者232人) フォーラム1回(参加者83人)
		決算	4,807	
14	緊急ショートステイ事業  [高齢者支援課]	予算	11,345	介護保険施設のベッドを確保し、虐待や家族の病気などにより緊急・一時的に介護が受けられない方に対しショートステイを実施した。 延利用人数29人、延利用日数265日間
		決算	9,000	

15	認知症高齢者支援事業 [高齢者支援課]	予算 決算	12,168 8,513	認知症に対する正しい知識と具体的な対応方法について広く普及するため、啓発活動や相談事業を実施した。また、認知症高齢者及び家族への支援として、ヘルパーを派遣し、認知症高齢者見守り支援事業を実施した。 ①認知症サポーター養成講座…26回 722人 ②認知症相談事業…相談件数 85人 ③認知症見守り支援事業…決定者数 22人、登録者数 40人 延利用時間 2,855.5時間、延利用者数 353人
16	みどりのこども館の管理運営 [障害者福祉課]	予算 決算	87,478 86,858	主に就学前の子どもと保護者への支援を目的とする「みどりのこども館」内で、「地域療育相談室ハビット」、「こども発達支援室ウィズ」、地域開放型事業の「おもちゃのぐるりん」を、(福)武蔵野に指定管理をし、運営した。ハビットの心理相談、親子通園事業の希望者が多く、待機者解消のため臨床心理士1名(非常勤)を増やした。また、重度心身障害児の地域での支援のニーズに応えるため、看護師1名(非常勤)を増やした。
17	障害児の放課後対策の充実 [障害者福祉課]	予算 決算	27,371 29,762	高校生を含む障がい児の放課後活動の場を提供し、日常生活を充実させるとともに家族の介護負担の軽減を図った。 ・市内の児童デイサービス事業所(就学児向け)2カ所 ・日中一時支援事業所1カ所
18	リハビリ専門相談及び中途障害者デイサービス [障害者福祉課]	予算 決算	18,030 18,030	既存のサービスを利用できない・利用しにくい中途障がい者を対象にリハビリ専門相談を実施するとともに、社会復帰に向けた自立訓練や社会参加の機会を提供した。 【専門相談】リハビリ-延1,212人(実109人)、視覚-1,129人(実57人)、高次脳-664人(実31人) 【市単独通所】自立訓練・生活介護-43人(実5人)

## 5 サービスの質の向上と利用者の保護

19	ケアマネジャー研修センター運営事業 [高齢者支援課]	予算 決算	1,923 1,587	センターに登録しているケアマネジャーを対象に、知識・スキルの習得を目的とした研修会や、マネジメントに特化した、より個別な研修会を行うなど、サービスの質の向上を図った。 ①新任研修 1回 修了者 44人 ②現任研修 1部 修了者 21人 ③専門研修 2回 修了者 241人(延) ④ケアプラン指導研修 6回 29事例
----	-------------------------------	----------	----------------	---

## 6 サービス基盤の整備

20	介護保険利用者負担額助成事業(5%助成) [高齢者支援課]	予算 決算	26,468 23,702	介護保険を利用する低所得者に対し、経済的な負担を軽減するため、訪問介護系サービス利用料10%のうち5%分の助成を行った。(予算額・決算額は扶助費のみ記載) 実支給人数 898人、支給件数 8,446件
21	通所サービス利用者食費助成事業(200円助成) [高齢者支援課]	予算 決算	13,845 11,662	介護保険を利用する低所得者に対し、経済的な負担を軽減するため、通所系サービス利用時にかかる食費のうち、一食あたり200円の助成を行った。(予算額・決算額は扶助費のみ記載) 実支給人数 803人、延交付食数 58,310食
22	認定調査体制の強化 [高齢者支援課]	予算 決算	35,122 32,107	要介護認定の申請者の増加に伴い、認定調査を遅滞なく行うため調査員1人を増員した。

## II 子ども・教育

### 1 子育て支援施策の総合的推進

(金額欄における予算は当初予算を計上)

1	私立幼稚園補助金等助成事業 [子ども家庭課]	予算 決算	312,971 306,955	私立幼稚園及び私立幼稚園等園児保護者への助成により、引き続き幼児教育の振興を図った。 ・幼稚園への補助 36,995,000円 ・保護者への補助 243,081,700円
2	子どもを守る家関連推進事業 [児童青少年課]	予算 決算	1,348 1,067	「子どもを守る家」、「自転車防犯帯」協力員の拡大及び活動の意義・目的の再認識と情報提供を実施した。子どもが自ら身を守ることを意識づけを目的とした「CAPワークショップ」を実施した。 子どもを守る家1,938件、自転車防犯帯2,928件(平成24年3月現在)
3	0123施設の管理運営 [子ども家庭課]	予算 決算	93,280 101,058	0歳から3歳までの乳幼児の豊かな育ちとその親の子育てを支援するための事業を行うとともに、施設を安全・適正に維持・管理するため、(公財)武蔵野市子ども協会に管理運営を委託した。 ・延利用者(子ども)数:吉祥寺13,868人、はらっぱ25,989人
4	子ども家庭支援センター事業 [子ども家庭課]	予算 決算	33,470 28,493	平成23年4月、ひとり親家庭を含めた相談体制と地域子育て支援をさらに充実させるため、子育てSOS支援センターを改組し、子ども家庭支援センターを設置した。子育て支援ネットワークにより各機関との連携を進め、相談事業、産前・産後支援ヘルパー事業、養育支援訪問事業等を実施し、児童虐待や子育てに不安を持つ家庭を支援した。 ・相談事業延活動件数12,836件
5	乳幼児及び義務教育就学児医療費助成事業 [子ども家庭課]	予算 決算	453,951 468,483	乳幼児及び義務教育就学児の医療保険診療自己負担分を助成した。 ・医療費助成額444,818,530円 ・対象児童数:乳幼児6,879人、義務教育就学児8,484人 ・助成件数:乳幼児123,089件、義務教育就学児114,140件
6	児童扶養手当等支給事業 [子ども家庭課]	予算 決算	402,840 387,055	ひとり親家庭等や障がいのある児童の保護者に対する児童扶養手当・児童育成手当を支給した(所得制限あり)。 ・児童扶養手当支給額216,247,120円、受給者数460人 ・児童育成手当支給額163,261,000円(育成手当951人、障害手当67人)
7	子ども手当支給事業 [子ども家庭課]	予算 決算	2,533,484 2,142,042	次代の社会を担う子どもの育ちを支援するため、中学校修了前までの子どもについて子ども手当を支給した。 ・子ども手当支給額2,136,286,000円 受給者数9,574人、対象児童数14,827人
8	ひとり親家庭医療費助成事業 [子ども家庭課]	予算 決算	28,974 25,188	ひとり親家庭等に対し、医療保険診療自己負担分(課税世帯は一部)を助成した(所得制限あり)。 ・医療費助成額22,902,838円 受給世帯数447世帯、受給対象者数693人、助成件数9,501件
9	ひとり親家庭ホームヘルプサービス事業 [子ども家庭課]	予算 決算	15,600 7,584	修学、就労、疾病又は生活環境の変化等により、一時的に家事、育児等の日常生活の援助を必要とするひとり親家庭にホームヘルパーを派遣し、生活の安定を図った。 ・実世帯数37世帯、派遣日数1,556日
10	子育て支援事業 [子ども家庭課]	予算 決算	7,439 7,381	安心して子育てするとともに、子育て家庭同士、子育て家庭と地域のつながりづくりのための施策の充実、検討を進めた。また、親および地域の子育て力向上、新たな子育て支援者育成のための事業を実施した。 ・ひろば事業延べ参加者数4,385人 ・親支援講演会参加者数56人 ・子育てひろば支援者講座参加者数34人

11	保育の質向上の取組み [保育課]	予算 決算	7,728 7,037	保育の質向上の取組みとして、保育園アドバイザー、保育園カウンセラーの配置、保育相談員の巡回指導の充実、保育のガイドラインの作成、職員研修等を行った。
12	子ども協会立保育園（千川、北町）運営事業 [保育課]	予算 決算	504,047 455,695	平成23年4月より千川・北町保育園の設置・運営主体を（公財）武蔵野市子ども協会に移管し、施設の運営、各保育事業、その他管理に関する経費に対し、委託と補助を行った。
13	病児・病後児保育事業の充実 [保育課]	予算 決算	16,048 15,660	病氣中又は病気の回復期にあるが、家庭で療養することが困難な児童に対する病児・病後児保育事業を病児・病後児保育室「プチあんず」、病後児保育室「ラポール」に委託実施し、保護者の子育て及び就労の両面の支援を行った。

## 2 親子のふれあいと家庭への啓発

14	家族で手作り・楽しい食卓 キャンペーン事業 [子ども家庭課]	予算 決算	457 369	子どもの食を家族で考え、乳幼児期からの正しい食習慣を定着させるため、「新！武蔵野野菜たんけん隊」を実施した。 ・参加者：夏 21組 50人、冬 10組 25人
15	鳥取県家族ふれあい長期自然体験事業 [児童青少年課]	予算 決算	3,461 3,149	鳥取県の山間漁村において生活し自然体験を行うことで、家族の絆を深め、また、地方と都市の交流を図った。 ・参加者：29家族 102人
16	親子棚田体験事業 [児童青少年課]	予算 決算	731 641	新潟県長岡市小国町の棚田において、農業体験を通して親子の絆を深め、また、地方と都市の交流を図った。 ・参加者：春（田植え）9家族 23人、秋（稲刈り）9家族 23人

## 3 子育て支援施設の整備

17	賃貸物件を活用した緊急待機児童対策事業 [保育課]	予算 決算	29,700 23,528	保育所入所待機児童を解消するため、賃貸住宅等を活用したグループ保育室「みどり」と「さくら」の2施設を開設した。定員は各施設10人であり、待機児童の解消につながった。また、平成24年4月開設のグループ保育室「どんぐり」の開設準備も行った。
18	境こども園（仮称）実施設計他補助事業 [保育課]	予算 決算	123,534 78,387	平成25年4月の境こども園の開設に向けて、施設の実施設設計及び建設工事並びに職員体制整備の経費について、設置・運営主体となる（公財）武蔵野市子ども協会に対し補助を行った。
19	子ども協会立北町保育園実施設計他補助事業 [保育課]	予算 決算	66,521 66,521	北町保育園移転改築（平成25年3月園舎竣工）に向け、施設の実施設設計及び建替え工事の費用について設置・運営主体となる（公財）武蔵野市子ども協会に対し補助を行った。
20	児童館運営事業 [児童青少年課]	予算 決算	20,955 19,365	子どもたちの健全育成を目的として、乳幼児親子と小中学生を対象に、健全な遊びと安全な居場所の提供及び子育て支援を実施した。 ・事業回数 261回、参加者延 10,679人、 一般来館者 延 28,278人、総計 延 38,957人

#### 4 学校教育の充実

21	小・中学校空調設備設置工事 [教育企画課]	予算 決算	960,000 907,200	児童・生徒の学習環境を整備し、教員も含めた健康を保障するため、普通教室243室（小学校173、中学校70）及び特別教室等80室（小学校45、中学校35）に空調設備を設置した。
22	少人数指導及び学習支援教室等の推進 [指導課]	予算 決算	30,729 29,464	学級内及び学級の枠を超えた弾力的編成による個別指導、グループ指導を行い、個に応じた指導の充実を図った。また、学習につまずきのある児童生徒へのきめ細やかな支援を図るため、希望者に対して放課後等に学習支援教室を実施した。
23	小学校外国語活動指導員の派遣 [指導課]	予算 決算	8,275 6,839	平成20年度より、市立小学校にALT（外国語活動指導助手）を配置し、5、6年生の外国語活動を開始している。平成23年度は、時数を全12校で年間35時間として、市が任用した6人のALTが教員とともに外国語活動を実施した。
24	小学校高学年における理科専科教員の配置 [指導課]	予算 決算	10,482 10,019	観察、実験を通して児童の理科への関心を高めることができるよう、都の加配教員配置校2校を除いた全ての小学校10校の高学年において理科の専科教員を配置した。
25	セカンドスクール [指導課]	予算 決算	128,828 114,330	市立小学校5年生・中学校1年生を対象に、農山漁村等における長期滞在型の体験学習をするセカンドスクールを学校単位で実施した。また、小学校4年生を対象に短期宿泊体験学習であるプレセカンドスクールを実施した。東日本大震災の影響により、合わせて8校が実施地を変更し、セカンドスクール3校が泊数を変更した。
26	学校図書館システム更改 [指導課]	予算 決算	6,267 6,158	小中学校全18校の学校図書館システムの更改を実施した。最新の書誌データをリアルタイムに入手でき、学校図書館運営業務の効率化を図った。また、ハンディターミナルを導入し、蔵書点検を短時間でを行う環境を整えた。
27	教育用コンピュータ（パソコン教室）更改 [指導課]	予算 決算	55,945 45,420	小中学校全18校のパソコン教室のパソコンの更改を完了し、1人1台のパソコンを使用して調べ学習等ができる授業環境を再整備した。また、書画カメラ、電子黒板等を導入し、教員がICT機器を活用した授業ができる環境を整備した。
28	教員用コンピュータネットワークの運用管理 [指導課]	予算 決算	78,362 77,890	平成22年度に導入した校務支援ソフト（「スクールオフィス」）の活用を行った（グループウェア機能、通知表の作成、指導要録の電子保存）。教職員を対象に夏季パソコン研修（「ワード」、「エクセル」、「パワーポイント」）を実施した。
29	音楽クラブ楽器購入・修繕 [指導課]	予算 決算	7,946 7,568	市立小中学校14校において、楽器購入や老朽化した吹奏楽器等を修繕することにより有効・長期的に使用できるようにし、吹奏楽等クラブの円滑な活動を図った。
30	教育相談事業（不登校対策の推進） [教育支援課]	予算 決算	78,902 72,985	教育支援センター、学校、子ども家庭支援センター等関係機関が連携を強化し、いじめ・不登校・発達障害などの相談に対応した。また、東京都「学校と家庭の連携推進事業」を実施し、地域の支援員が不登校傾向にある児童の登校支援を行った。 ・来所相談3,322件、学校派遣支援数6,394件 ・学校と家庭の連携推進事業実施校 1校
31	特別支援教育推進事業（学校支援人材の派遣） [教育支援課]	予算 決算	10,667 10,873	専門家スタッフ（大学教授等）を各小・中学校に計133回派遣、サポートスタッフ（心理学を専攻する大学院生等）登録者38人を延828回派遣、ティーチングアシスタント（教員を志望する学生等）登録者98人を延2,180回派遣し学校教育の充実を図った。

32	特別支援学級の運営 [教育支援課]	予算 決算	138,867 125,273	介助員の配置、スクールバスの配車などを行い、特別支援学級（知的障害学級、難聴・言語障害学級、肢体不自由学級、院内病弱学級、情緒障害学級）の運営を行った。また、第二中学校こぶし学級の本校舎内への移転を行い、学習環境の向上を図った。
33	一般財団法人武蔵野市給食・食育振興財団に対する調理業務委託 [教育支援課]	予算 決算	689,677 637,165	（一財）武蔵野市給食・食育振興財団に全市立小中学校の給食調理業務を委託した。 ・給食提供回数：小学校 193 回、中学校 192 回

## 5 青少年施策の充実

34	ジュニア交流団派遣（アメリカ）事業 [交流事業課]	予算 決算	4,365 3,682	第 24 回武蔵野市ジュニア交流団として、アメリカ合衆国テキサス州ラボック市等へ市内在住中学生 16 人、引率者 3 人を派遣した。NASA 宇宙センター等の見学後、ラボック市に入り、市内諸施設の見学と異文化学習、市役所表敬訪問、ホームステイ 2 泊を含め交流を図った。 ・期間：7/24～8/2
35	中国との相互交流事業 [交流事業課]	予算 決算	2,100 1,215	中国から 8 回目となる受入れ事業として「北京市月壇中学青少年交流団」 中高校生 10 人、引率者 3 人を受け入れた。ホームステイ 2 泊を含め、武蔵野北高校での生徒交流、都内及び富士山周辺の見学等を実施し交流を図った。 ・期間：1/31～2/6
36	韓国との相互交流 [交流事業課]	予算 決算	2,978 1,759	大韓民国忠州市へ 2 回目となる中高校生 8 人、引率者 3 人の訪問団を派遣した。ホームステイ 1 泊、韓国武道テッキョン体験などをおし交流を図った。 ・期間：8/5～8/8 ソウル特別市江東区から 3 回目となる中高校生 12 人、引率者 3 人の訪問団を受け入れた。ホームステイ 2 泊、浅草や江戸東京たてもの園散策などをおし交流を図った。 ・期間：9/2～9/5
37	市立自然の村管理運営 [児童青少年課]	予算 決算	42,556 40,589	長野県南佐久郡川上村にある市立自然の村の維持管理運営と、天体望遠鏡のメンテナンスのため、鏡面再メッキ加工を行った。 ・宿泊利用人数 延 5,342 人 ・利用促進バス 11 回運行、延 150 人利用
38	むさしのジャンボリー事業 [児童青少年課]	予算 決算	16,092 13,994	武蔵野市青少年問題協議会地区委員会との共催事業として、2 泊 3 日のキャンプを 11 回実施した。 ・場所 市立自然の村 ・参加者延 1,453 人（小学校 4～6 年生児童 934 人、指導者 335 人、サブリーダー 183 人、介助者 1 人） また、40 周年を記念して式典及びパネル展等を行った。
39	青少年問題協議会の運営と地区委員会活動の推進 [児童青少年課]	予算 決算	11,567 10,874	青少年問題協議会定例会の開催及び地区委員会の活動に対する補助を行った。 ・市内 12 地区委員会 1,400 人
40	青少年活動育成（境冒険遊び場公園（プレーパーク）事業、親子ふれあい自然体験事業、家族棚田体験事業を除く） [児童青少年課]	予算 決算	11,765 9,813	①中高生リーダー講習会：参加申込数 142 人 ②善行表彰：8 人、1 グループ、1 団体 ③自然体験指導者講習：平成 23 年度より隔年事業とし、平成 23 年度は実施をしなかった。 ④青少年団体バス借上げ：延台数 56 台

41	境冒険遊び場公園（プレーパーク）事業 [児童青少年課]	予算 決算	9,774 9,774	・総来場者数 13,569 人 ・イベントプレーパーク開催数 7回
42	ハバロフスク市青少年交流事業 [児童青少年課]	予算 決算	4,324 3,575	武蔵野市・ハバロフスク市青少年相互交流に関する協定書に基づき、青少年交流団として、12～18歳の青少年12人、随員3人を7泊8日の日程でハバロフスク市より受け入れた。
43	地域子ども館事業 [児童青少年課]	予算 決算	130,016 124,469	小学生が安全かつ健全に放課後等を過ごし、仲間づくりや異年齢交流を図ることができるように、学校施設を利用した地域の居場所・遊び場を提供した。 ・延参加児童数 427,516人
44	学童クラブ事業 [児童青少年課]	予算 決算	188,744 201,292	市内在住で小学校低学年の、放課後監護に欠ける児童の健全育成を行った。本宿こどもクラブの校内移転を行い、学童クラブの校内及び隣接地への移転が完了した。また、地域子ども館 あそべえとの連携をすすめ、土曜日開所の試行を行った。 ・15クラブ 定員734人 在籍数(年間平均)636人

## 6 生涯学習施策の拡充

45	むさしのサイエンスフェスタ [生涯学習スポーツ課]	予算 決算	1,572 1,043	大野田小学校を会場に市立小中学校教員や地域ボランティア、地元の大学や企業等の協力を得て科学実験ブースを設置し、広く小中学生に科学の不思議さ、面白さを体験する機会をつくることで、学ぶ意欲の向上を図った。参加者数1,203人 ¥¥¥
46	文化財保護普及事業 [生涯学習スポーツ課]	予算 決算	20,350 21,393	文化財の保存と活用を目的とし、文化財保護委員会議の開催、民俗資料の調査収集・展示、埋蔵文化財の発掘調査などを行うとともに、平成19年度及び平成20年度に行った発掘調査をまとめた報告書を「武蔵野市埋蔵文化財調査報告集9」として刊行した。また、発掘調査を1件行った。
47	土曜学校事業 [生涯学習スポーツ課]	予算 決算	3,954 2,479	学校の授業ではなかなか学べない体験を中心とした学習の場として、小中学生を対象に、学校休業日の土曜日に体験活動を中心としたプログラムを展開した。23年度は19種類の講座を実施した（スポーツプログラム・市民会館実施分を含む）。
48	ひと・まち・情報 創造館 武蔵野プレイスの管理運営 [生涯学習スポーツ課]	予算 決算	510,177 446,333	平成23年度から管理主管課が生涯学習スポーツ課となり、武蔵野プレイス管理運営の指定管理者である公益財団法人武蔵野生涯学習振興事業団と協定を締結し、平成23年7月9日に開館した。「図書館」をはじめとして「生涯学習支援」「市民活動支援」「青少年活動支援」の4つの機能を併せ持つ複合型の施設として管理運営及び各種事業を行った。 ・来館者数約100万人（開館～平成24年3月末まで）
49	図書館資料収集・保存 [図書館]	予算 決算	134,655 129,564	市立図書館の図書資料の充実を図った。また、武蔵野プレイスの開館に伴い、市立図書館全体の蔵書総数を増やした。 【蔵書数】 平成23年3月末 717,456冊、平成24年3月末 793,110冊 【増減数】 ・中央図書館 : 図書14,387冊、CD△125点、DVD246点 ・吉祥寺図書館 : 図書 △275冊、CD△54点 ・武蔵野プレイス: 図書 8,687冊
50	児童を対象とした図書サービス [図書館]	予算 決算	9,625 8,697	平成23年8月武蔵野市子ども読書活動推進計画を策定し、「としょかんこどもまつり」、「どっきんどようび」「むさしのブックスタート」、「読書の動機づけ指導」、「子ども文芸賞」等の事業を引き続き実施し、保護者や子どもたちに対する読書推進活動を行った。

### Ⅲ 緑・環境・市民生活

#### 1 持続可能な都市の形成

(金額欄における予算は当初予算を計上)

1	二酸化炭素排出削減行動助成事業  [環境政策課]	予算 決算	17,150 31,191	<p>市域の二酸化炭素排出量を削減するため、住宅用の太陽光利用設備や高効率給湯設備の設置費用の一部を助成した。</p> <p>①太陽光利用設備…助成件数 計 125 件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・太陽光発電システム 5万円/kW</li> <li>・太陽熱温水器 5万円/件</li> </ul> <p>②高効率給湯機器…助成件数 計 249 件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭用燃料電池コージェネレーションシステム 10万円/件</li> <li>・ガス発電給湯器 4万円/件</li> <li>・CO2冷媒ヒートポンプ給湯器 1万5千円/件</li> <li>・潜熱回収型給湯器 1万円/件</li> </ul>
2	市域 CO2 排出削減推進事業 (むさしの環境フェスタ)  [環境政策課・ごみ総合対策課・クリーンセンター]	予算 決算	8,091 4,675	<p>環境啓発イベントとして、むさしの環境フェスタを開催した。環境に関する展示や小学生による環境学習の発表、クリーンセンター施設見学会等を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・来場者数 1,100 名</li> </ul>
3	市域 CO2 排出削減推進事業 (事業者の省エネ等支援事業)  [環境政策課]	予算 決算	2,700 607	<p>①市内中小事業所を対象に、業務用設備の省エネ診断・改善アドバイスを無料で実施した。 2件 499,800円</p> <p>②市内中小事業所を対象に、省エネ設備改修費用の借入金利子の補助を行った。 1件 107,537円</p>
4	太陽光発電設備の設置  [環境政策課]	予算 決算	40,147 28,375	<p>公共施設に太陽光発電システムを設置した。</p> <p>①市立第二中学校校舎屋上 出力 30kw</p> <p>②吉祥寺南町コミュニティセンター 出力 5kw</p>
5	武蔵野市公共施設省エネ改修事業  [環境政策課]	予算 決算	13,000 6,797	<p>市庁舎の省エネ改修工事を実施した。</p> <p>①ロビーの照明を LED 照明に交換</p> <p>②東・南棟階段の照明を Hf 型照明に交換</p>
6	省エネ法等による中長期計画等策定支援業務  [環境政策課]	予算 決算	5,000 4,986	<p>公共施設の省エネ化を推進するため、各施設のエネルギー使用状況の把握、改修面・運用面での省エネの行程表の作成を行った。</p>
7	生物多様性保全事業  [環境政策課]	予算 決算	990 761	<p>生物多様性に関する啓発を行うため、生物多様性をテーマとしたシンポジウムを開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者数 32 人</li> </ul>
8	小規模事業者に対する事業系ごみの排出指導事業  [ごみ総合対策課]	予算 決算	7,788 7,770	<p>市内約 4,000 の小規模事業者に対して、事業系ごみを家庭ごみとして排出している事業者の指導強化を実施し、適正排出率の向上を図った。ルール違反 163 件(年間)、適正排出率は 44%(平成 19 年度)から 79.6%(平成 23 年度調査終了時)へ向上した。</p>
9	レジ袋削減の推進  [ごみ総合対策課]	予算 決算	2,473 2,026	<p>レジ袋削減を推進するための協定を結んだ市内スーパー12社やコンビニでキャンペーン、市内各商店街でフラッグ、ポスター掲示を行うなど、全市的にレジ袋削減の取組みを行うことにより、市民の環境に対する意識の変化、ライフスタイルの変化を促してきた。</p>
10	剪定枝葉資源化事業  [ごみ総合対策課]	予算 決算	14,459 11,747	<p>一般廃棄物として焼却されている剪定枝葉の一部を堆肥化して有効活用するとともに、燃やすごみの減量を図った。資源化量 255.51 t</p>

11	集団回収事業 [ごみ総合対策課]	予算 決算	42,407 42,454	集団回収事業によって、資源の有効活用、ごみの減量及びごみ問題に対する市民の関心を高めることに取り組んだ。23年度の参加は174団体 回収量3,483t
12	ごみ減量協働事業 [ごみ総合対策課]	予算 決算	1,700 1,471	フリーマーケット、青空市、分別案内所等のごみ減量施策を市民団体と協働事業として実施することにより、市民への更なる啓発を行い、ごみ減量の推進を図った。
13	プラスチック製容器包装 (硬質プラ)資源化事業 [ごみ総合対策課]	予算 決算	3,780 2,216	分別収集したプラスチック製容器包装のうち、小規模事業者に代わって市が再商品化の義務を負う分について、委託により資源化处理を行い、工程の見学等により市民の資源化推進の意識向上を図った。夏休みごみ探検隊、ごみの行方を知るツアー等で見学会を実施した。
14	塵芥処理事業(収集委託料) [ごみ総合対策課]	予算 決算	1,095,387 1,092,797	平成21年度から、可燃・不燃ごみの一般収集業務を完全委託化するとともに、不燃ごみの収集回数を見直し、収集効率を向上させた。平成23年度は狭あい対象路線の特別収集についても完全委託化をした。
15	クリーンセンター施設改修 等工事 [クリーンセンター]	予算 決算	670,139 638,446	安定的なごみ処理を図るため、焼却施設・粗大ごみ処理施設等の基幹設備の法定点検及び定期点検整備工事と施設や部品の劣化状況を見ながら計画的に改修工事を実施した。
16	新武蔵野クリーンセンター (仮称)建設事業 [クリーンセンター]	予算 決算	148,378 141,329	施設基本計画策定委員会の提言に基づき、パブリックコメントを踏まえて施設基本計画を策定した。この計画に則して事業者選定委員会を設置し、事業者選定手続等の検討・準備を進めた。合わせて第二期施設・周辺整備協議会を設置し、建築デザインや配置・動線等を検討して整備運営事業要求水準書(案)に反映させた。また、生活環境影響調査等の必要な調査や環境啓発事業を実施した。
17	クリーンセンター周辺道路 整備 [クリーンセンター]	予算 決算	43,000 3,336	クリーンセンター周辺整備の一環として市立第四中学校の生徒等の通行する歩行空間確保のため、緑町ふれあい広場内北側遊歩道の改修を行った。

## 2 緑豊かな都市環境の創出

18	公園等建設事業(千川上水 整備事業を除く) [緑化環境センター]	予算 決算	1,544,026 1,067,631	吉祥寺北緑地、三谷公園の用地買収及び吉祥寺北緑地新設、はなもみじ公園拡充他10カ所の改修工事等を行った。 【主な新設、改修等】 ・吉祥寺北緑地新設(平成24年3月31日供用開始)1,000㎡ ・はなもみじ公園拡充 1,653㎡、青葉公園改修 2,431㎡ ・大野田公園改修 1,646㎡、桜堤遊歩道改修 1,761㎡ 【用地購入】 ・吉祥寺北緑地新設用地 1,000㎡ ・三谷公園拡充用地 811㎡
19	緑の表彰・顕彰制度 [緑化環境センター]	予算 決算	576 420	将来の緑豊かなまちづくりをめざし、緑の保護・育成に取り組み、地域に貢献している個人、市民団体、地域、企業及び開発事業者等を顕彰することによって、市民ならびに事業者の緑化に対する意識向上を図り、緑化の推進、緑の保全による快適で優しい生活環境の創出を図ることを目的とする。 第3回は「建築行為に伴う敷地内緑化(小規模地区緑化)」をテーマに実施し、平成17年度から平成22年度までに緑化計画書及び完了報告の提出を行った建築行為を対象に、外観の写真撮影、航空写真の掲載、調査員の評価も含めて整理した。

20	未来へ育て！苗木すくすく 大木計画  [緑化環境センター]	予算 決算	1,550 723	緑豊かな都市環境の創出を目指し、減少傾向にある民間の緑を育み、緑の質を高めることを目的とし苗木を配布した。相乗的な緑化推進、啓発効果を図るため、「一般配布」と「新築記念樹」により、配布方法及び対象を様々に展開した。 【配布実績】 ・新築記念樹 83 本(6月、9月、12月、3月)、一般配布 82 本 (配布樹種：ハナミズキ、コブシ、シマトネリコ、モミジ、ヒメシャラ)
21	緑ボランティア団体事業助 成  [緑化環境センター]	予算 決算	3,600 3,003	市民によって構成されたボランティア団体による市立公園等を拠点として実施する緑の保全、緑化推進及び公園等の維持に関する活動事業。清掃や花苗の植えつけ等の活動を行った。 【登録団体】 緑ボランティア 21 団体。

### 3 身近な自然の回復と保全

22	橋りょう新設改良事業  [道路課]	予算 決算	32,000 29,537	仙川水辺環境整備に伴う橋りょうの撤去・新設を行った。 橋りょう撤去・新設 1カ所
23	仙川水辺環境整備事業  [緑化環境センター]	予算 決算	169,700 93,749	コンクリート3面張り構造の河川から石積み自然護岸へと改修工事を行った。また、桜二の橋周辺の自然護岸約50mを新設し、既整備区間の維持管理を行った。 【内容】 ・仙川水辺環境整備工事(施工延長50m、桜二の橋上流から平成22年度施工部めがね橋下流まで) ・仙川水辺環境整備業務委託(平成24年度施工予定のめがね橋の上下流の護岸整備及び導水管設置における詳細設計業務) ・仙川緑地外1箇所維持管理委託(仙川緑地及び整備済み河川の維持管理作業)
24	千川上水整備事業  [緑化環境センター]	予算 決算	3,000 2,993	親水や身近な自然とのふれあいの場として水と緑のネットワークにおける、より魅力のある空間を創出するため、整備に関する実施設計を行った。 【内容】 ・千川上水整備設計業務委託(千川上水の施設等の改修工事に必要な図面及び設計図書等の作成)
25	二俣尾・武蔵野市民の森の 充実と奥多摩の森林整備  [緑化環境センター]	予算 決算	9,965 8,381	多摩の森林を保全し活用するための事業を実施した。 ・二俣尾・武蔵野市民の森の森林整備等委託 ・森の市民講座、自然観察会の実施 ・奥多摩・武蔵野の森の森林整備委託 ・自然体験館の整備及び維持管理
26	保存樹林等の指定  [緑化環境センター]	予算 決算	10,713 8,285	民有地の緑を守る一環として、環境緑地や保存樹木、保存生垣制度を設け、保存樹木等に指定し、適正に維持管理を図るため毎年助成金の交付、樹木医の派遣、自然災害等の影響度について現況調査を実施した。 【平成24年3月時点】 保存樹木総数736本、生垣総数126カ所、保存樹林総数3カ所 【樹木診断】 4カ所

### 4 農業の振興

27	認定農業者経営改善支援補 助事業  [生活経済課]	予算 決算	2,500 2,527	認定農業者の経営改善に要する事業費の一部を補助し、経営改善計画の達成を支援する事業。補助制度を利用した農家の機械化等が改善され、作業効率の向上が図られた。 ・8件、事業費6,944,945円、補助金2,527,000円
----	------------------------------------	----------	----------------	--

28	このとりベジタブル事業 [生活経済課]	予算 決算	1,854 1,618	新生児が誕生した家庭に市内農産物の引換券(500円券4枚、7月より200円券10枚)を贈り、地産地消と食育の推進を図った。1,410人へ11,724枚を配布、利用枚数4,160枚(JA1,615枚、アンテナショップ2,256枚、直売所289枚)…1,516,000円 このとりベジタブル券印刷費…101,850円。
29	登録農地育成事業 [生活経済課]	予算 決算	2,000 1,904	市と農地の保存協定を結んだ農家へ、農業近代化のための施設整備や農機具購入費用の一部を補助した。平成20年度から保存年限を10年に延長し、補助回数を2回に変更したことで、より農地の保全が図られた。 ・5件、22,715㎡、事業費4,857,841円、補助金1,904,247円
30	市民農園維持管理事業 [生活経済課]	予算 決算	9,125 8,652	園芸を通じて土に親しむとともに市民相互の交流と農地の保全のため、市民農園の維持管理をした。平成23年4月より、境南市民農園が開設し、市民農園は9カ所727区画となり、市民の利用拡大が図られた。

## 5 商工業の振興

31	勤労者互助会補助 [生活経済課]	予算 決算	21,874 21,874	市内の中小企業の事業主及び勤労者を対象に、福利厚生を図るため、補助金を交付した。勤労者互助会の主な事業内容は、福利厚生事業、共済金給付事業、退職金共済掛金補助事業、健康維持増進に係る事業、30周年記念事業等。
32	技能・産業功労者表彰事業 [生活経済課]	予算 決算	1,828 1,561	技能の練磨や後進の育成にあたりとともに、市民生活の向上に貢献した技能者並びに市内の産業発展に寄与し、功労のあった者を表彰した。11月21日に表彰式及び祝賀会を実施した(隔年実施)。 ・技能功労者19人、産業功労者7人
33	吉祥寺ウェルカムキャンペーン補助 [生活経済課]	予算 決算	7,000 7,000	吉祥寺の街をPRし、来街者の増加及び吉祥寺商業の活性化を目指す年2回(春秋)のキャンペーンのイベントに対して補助を行った。 ・大吉祥抽選会(春) 3,500千円 ・アニメワンダーランド(秋) 3,500千円
34	路線商業活性化総合支援事業 [生活経済課]	予算 決算	7,400 7,255	路線商店街において、複数の商店会が合同で実施する共同事業等の支援及び空き店舗を活用したコミュニティスタジオ事業等を展開していく中で、「にぎわい」「ふれあい」の創出や商品の販売促進を通して、活力ある商店街づくりを目指した。 ・スタンプ事業6,600千円、商店街空き店舗活用事業655千円
35	Musashino ごちそうフェスタ [生活経済課]	予算 決算	4,500 4,500	市民・来街者の方に武蔵野市の飲食・食品店での買い物を通して地元の“食”を知ってもらうためのイベントを実施(主催:武蔵野商工会議所)。「飲食・食品店ガイドブック」を無料配布。ガイドブック掲載店への投票イベント「ムサランフェア」投票期間:10月22日(土)～11月23日(水・祝)を開催。「物産・逸品市」11月23日(水・祝)、「武蔵野地粉うどん」(限定500食)の発表、武蔵野の「物産」「逸品」の紹介と販売、「地産・地消 武蔵野の野菜」販売・PRを行った。
36	商工振興事業 [生活経済課]	予算 決算	13,000 12,760	各種商工団体に補助金を交付し商工振興を図った。その他の商工振興事業として、次の事業を実施した。 ①武蔵境ジャズセッションイベント事業(実施委託) 2月25日(土)武蔵野スイングホール 来場者数…約420人 委託費995,400円 ②商店街装飾街路灯電気料補助事業 ・上半期…37商店会分5,996,100円 ・下半期…37商店会分5,768,000円

37	武蔵境活性化委員会補助事業 (商工会議所補助事業)  [生活経済課]	予算 決算	2,840 2,840	「ほっとタウン武蔵境」をキーワードに活性化委員会により計画された事業のうち、ホームページや紙媒体広報物の作成など情報発信にかかる経費及び委員会運営費の補助を行った。
38	新・元気を出せ商店街事業  [生活経済課]	予算 決算	69,065 35,948	商店街支援事業として、東京都と連携した新・元気を出せ商店街事業を実施し、商店会の活性化を図った。 ・イベント事業 22件 35,494,000円 ・活性化事業 1件 454,000円
39	装飾街路灯維持管理経費事業  [生活経済課]	予算 決算	6,800 853	新・元気を出せ商店街事業費補助金では対象とならない商店会が保有している装飾街路灯等の維持管理に係る経費について、一部を補助することにより、商店会活動を支援し、来街者の安全確保と商業の振興を図った。 ・水銀灯交換、修繕工事等 6商店会(7件)
40	装飾街路灯LED化事業  [生活経済課]	予算 決算	0 4,554	環境問題への配慮と、防災や治安対策に積極的に取り組む商店会への支援として、商店会が水銀街路灯をLED化する経費について一部を補助した。
41	商店会組織力強化のための 企画提案型事業補助事業  [生活経済課]	予算 決算	6,000 8,798	商店会の振興を図り、もって地域商業の活性化に寄与することを目的として、武蔵野市内の商店会からの企画提案に基づき、商店会の組織力を強化するための方策を支援する事業を行う団体に対し、事業に係る経費の一部を補助した。 ・事業実施件数：8件
42	小規模企業者への補助事業  [生活経済課]	予算 決算	54,634 56,363	市内の小規模企業者及びこれから創業する者に対し、融資のあっせん、利子及び信用保証料の一部補助を行い、中小企業の振興を図った。また、東日本大震災や原発事故の影響を受けた小規模事業者への運転資金の緊急融資を実施した。 ・利子補給 1,736件 37,097,116円 ・信用保証料 188件 14,390,164円

## 6 都市観光の推進

43	吉祥寺アニメフェスティバル  [生活経済課]	予算 決算	2,300 2,299	吉祥寺を中心としてアニメ産業が集積する本市の産業振興及び都市観光推進を目的としてイベントを実施した。 ・3月10日(土)動物かんきょう会議上映会、吉祥寺まちなかLIVE～アニメMix～、チェブラーシカとあそぼう、吉祥寺アニメーション映画祭受賞作品上映会 ・3月11日(日)親子プラモデル教室、東日本大震災チャリティイベント無料アニメ上映会 withVOCALOID3蒼姫ラピスライブ&トーク
44	観光推進機構運営事業  [生活経済課]	予算 決算	30,018 30,018	平成22年度に設立した観光推進機構の運営を行った。 ・観光推進委員会の運営 ・各事業委員会の運営 ・観光情報の収集と発信 ・フィルムコミッション事業の立上げ
45	文化伝統事業支援補助事業 (吉祥寺薪能)  [生活経済課]	予算 決算	2,000 222	四半世紀にわたり、吉祥寺薪能実行委員会により運営されてきた本事業について、今後も吉祥寺で培われた文化伝統事業として観光資源の一つと捉え維持するため、補助を行った。 ・10月6日(木)、月窓寺境内、来場者数691人

## 7 真に豊かな消費生活の推進

46	消費生活センターの管理運営  [生活経済課]	予算	26,499	消費生活センターの管理運営、消費生活相談、消費生活講座、夏休み親子教室、消費生活展、消費者団体への助成、悪質商法被害防止街頭キャンペーン、その他消費者被害の未然防止啓発事業を実施した。また、消費者行政活性化補助金を活用し、年間専門研修派遣等により相談員の資質向上を図るとともに施設内の備品・設備機器の充実や啓発チラシの全戸配布等による広報・周知活動を推進した。
		決算	22,100	

## 8 防犯性の高い快適なまちづくり

47	繁華街における体感治安の改善事業  [安全対策課]	予算	16,000	防犯カメラを吉祥寺駅東部地区4台増設、既設4台を改修。南口パークロードに6台新設し、計14台を3月に新增設した。東部地区の防犯カメラ8台については、モニターを従来どおり東口交番に設置。市民、地元商店街、警察、市の連携による吉祥寺活性化協議会の全面的な協力により「防犯カメラ設置運営会議」を開催した。3月16日から運用を開始し記念式典、環境浄化推進啓発キャンペーンを実施。
		決算	15,225	
48	生活安全対策（ホワイトイーグル・ブルーキャップ・市民安全パトロール隊）  [安全対策課]	予算	106,184	ホワイトイーグル及び市民安全パトロール隊による安全パトロールを実施。ホワイトイーグルは車両3台・6人体制で、市民安全パトロール隊は4期8年目を迎え70人体制で運用した。ブルーキャップによるつきまとい勧誘等の指導は11人体制で運用した。12月には関係団体、市民と共に環境浄化推進特別パトロールを実施した。また、市民安全大会、生活安全会議及び生活安全対策推進協議会を開催した。
		決算	102,317	
49	害虫等対策・狂犬病予防事業  [環境政策課]	予算	5,262	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スズメ蜂等駆除125件、カラスの巢の撤去等22件、ネズミ侵入防止対策説明会等4回、ネズミ侵入防止対策支援事業9件実施。</li> <li>・犬の新規登録363件、再交付63件、注射済票交付3,570件（うち再交付4件）</li> <li>・マナープレートの配布、動物愛護展・犬のしつけ方教室開催等を通じて、動物愛護啓発の推進、飼い主のマナー向上等を図った。</li> </ul>
		決算	3,975	
50	地域環境協働事業  [環境政策課]	予算	500	市民との協働を基本に生活公害（猫による環境衛生・公害面等）を改善するために、地域猫対策の協働事業に対して補助を行い、生活環境の改善に取り組んだ。
		決算	497	
51	公害対策・調査・処理  [環境政策課]	予算	14,915	公害苦情相談の受付と対応を通じて、公害発生の未然予防を図り、市内環境の保全を行った。常時監視と随時調査による環境状況の把握と確認、工場や指定作業場に対する指導、その他公害要因対象者への指導等を行った。苦情の受付件数は、計169件（大気6件、騒音24件、振動8件、悪臭5件、その他126件）。
		決算	13,150	
52	落書き対策消去事業  [環境政策課]	予算	1,307	落書き消去活動を普及し、市民、商店会、ボランティア団体による自主的な街の安全対策を支援した。落書き消しちやい隊4回実施。
		決算	384	
53	放射線に関する対策  [各課]	予算	0	空間放射線量測定、土壤中放射性物質分析調査、水質検査、学校給食食材放射性物質検査などを実施した。
		決算	28,311	

## 9 防災態勢の強化

54	赤十字公園設備等撤去 [防災課]	予算 決算	17,434 11,372	老朽化した武蔵野消防署境出張所の移転・改築用地整備のため、移転先となる赤十字公園の更地化、ヒマラヤ杉の新植等を行った。
55	消防ポンプ自動車の購入 [防災課]	予算 決算	44,000 43,050	消防力の強化のため、消防団ポンプ車2台（第1・9分団）を機能・装備が充実したものに買い換えた。平成19年度から5カ年計画で進められた新型ポンプ車の配備が完了した。
56	災害用備蓄倉庫改修 [防災課]	予算 決算	2,256 2,628	避難所の備蓄機能維持のため、老朽化が著しい第五小学校、第六中学校の屋外備蓄倉庫を改修した。また、武蔵野北高校の改築に伴い、屋外備蓄倉庫の基礎等を改修した。
57	災害用トイレの整備 [防災課]	予算 決算	18,700 14,202	避難所の機能及び衛生環境の充実を図るため、市立大野田小学校にマンホール式の災害用トイレを設置した。
58	気象観測システム更新 [防災課]	予算 決算	3,516 1,540	市内の降雨状態等を的確に把握するため、庁舎屋上等に設置している気象観測システムの機器更新を実施した。

## 10 市民活動の活性化と協働の推進

59	コミュニティセンターの管理運営及びコミュニティ活動 （八幡町コミセン建替関連経費を除く） [市民協働推進課]	予算 決算	286,839 283,953	市民による自発的なコミュニティづくりが活発に行われるよう、コミュニティセンターの管理運営を、指定管理者である16のコミュニティ協議会に委託した。また、コミュニティづくりのための安全で快適な空間を確保するため、館の維持管理と基盤整備を行った。
60	八幡町コミュニティセンターの建替え [市民協働推進課]	予算 決算	123,104 85,606	八幡町コミュニティセンターの建替えに向けて、実施設計、計画通知を行った。建築工事、電気・機械設備工事、植栽工事、工事監理業務委託、各種調査委託の契約を行い、建築、電気・機械設備工事に着手し、各種調査を行った。

## 11 男女共同参画社会の実現

61	男女共同参画施策の推進 [市民協働推進課]	予算 決算	15,510 14,507	引き続き男女共同参画推進市民会議を設置し、第二次男女共同参画計画の推進状況の確認と課題解決に向けた検討を行った。また、むさしのヒューマン・ネットワークセンターの管理運営を運営協議会に委託し各種事業を実施するとともに、管理運営体制等の課題整理を進めた。情報誌「まなこ」の発行、ワーク・ライフ・バランス講演会や男女共同参画推進団体の活動支援等を実施した。
----	--------------------------	----------	------------------	---

## 12 都市・国際交流の推進

62	外国語版「国保のしおり」改訂 [保険課]	予算 決算	1,197 566	外国籍被保険者へのサービス向上を図るため、英語、中国語、韓国語版の「国保のしおり」を改訂し、窓口で配布した。特に加入時の制度等説明の際に活用した。
63	ルーマニア・ブラショフ市との交流事業 [交流事業課]	予算 決算	13,194 10,951	ルーマニア国ブラショフ市に設置した日本武蔵野センターを拠点に、日本語教室や日本文化紹介イベント等を実施した。8月末から3週間にわたり、インセンティブスクールとして夏期集中講座を開講し、日本文化の紹介を図った。

64	国際交流協会事業 [交流事業課]	予算 決算	66,214 66,214	国際交流協会が実施する在住外国人に対する日本語教室・相談事業や、在住外国人との交流をはじめとする市民レベルの国際交流活動を支援するため、運営補助金を交付した。
65	友好都市交流事業 [交流事業課]	予算 決算	5,563 3,299	国内友好都市間の交流ツアーや友好都市宿泊施設の利用助成を通じて、市民レベルでの交流促進を図った。今年度は安曇野市、遠野市、南房総市への市民ツアーを行うとともに、南砺市、安曇野市からの市民交流団を受け入れた。なお遠野市へのツアーは被災地支援を含めたものとして実施した。
66	友好都市アンテナショップ運営事業 [生活経済課]	予算 決算	5,287 4,934	友好都市のPRや物産品の販売、観光情報の発信などのために設置したアンテナショップを拠点に、友好交流、友好親善及び地元商店街の活性化を図った。開店10周年を迎えたため、11月12日(土)に周年記念祝賀会を行ったほか、店舗にて9月22日(木)から11月6日(日)まで、例年より期間と規模を拡大した周年イベントを開催した。

### 13 生涯スポーツの振興

67	総合体育館メインアリーナ等改修事業 [生涯学習スポーツ課]	予算 決算	202,360 185,077	選手や観客の環境向上と第68回国民体育大会・第13回全国障害者スポーツ大会の円滑な運営のため、メインアリーナに空調設備を設置し、音響設備、電光掲示板を改修した。また、メイン・サブアリーナの床も改修した。
68	国体・障害者スポーツ大会推進事業 [生涯学習スポーツ課]	予算 決算	1,492 1,387	第68回国民体育大会・第13回全国障害者スポーツ大会の競技会(バスケットボール、ラグビーフットボール、ウォーキング、グランドソフトボール)へ向けて、実行委員会を中心に各種会議を開催。ラグビーイベントの開催や啓発品作成による広報活動を行った。

### 14 特色ある市民文化の発展と平和施策の推進

69	平和啓発事業 [市民協働推進課]	予算 決算	1,664 1,419	11月24日を「武蔵野市平和の日」に制定し、記念事業『ピースむさしの未来をひらくつどい』を武蔵野公会堂で開催した。さらに、平和の日記念植樹としてはらっぱむさしのに長崎被爆クスノキ2世の苗とハナミズキの苗の植樹を行った。また、長崎市の中学生等をピースメッセンジャーとして招待し、平和学習発表会など市内中学生との交流を図った。武蔵野の空襲や広島・長崎の被爆など写真パネル展や講演会を非核都市宣言平和事業実行委員会と実施し、平和の尊さを市民とともに発信した。
70	文化施設・体育施設の予約システム更新 [市民協働推進課・生涯学習スポーツ課]	予算 決算	61,178 62,438	平成23年7月の武蔵野プレイスの開館に合わせ、文化事業団と生涯学習振興事業団の文化施設・体育施設の施設予約システムを統合し、平成23年11月から施設利用、平成24年1月から公演チケットをインターネットで予約できるようにして、利用者の利便性の向上を図った。

## IV 都市基盤

### 1 地域の特色を活かすまちづくりの推進

(金額欄における予算は当初予算を計上)

1	都市計画高度地区変更等高さ制限の具体化  [まちづくり推進課]	予算	2,620	都市計画マスタープランにおける都市構造、土地利用、景観まちづくり等の方針に即し、地域特性を考慮した高度地区による高さ制限について検討を進めた。平成24年2月15日に、高さ制限を導入するにあたっての市の基本的な考えを示した基本方針(案)を市報特集号等で公表するとともに、4回の説明会を行い、意見募集を実施した。平成24年5月に基本方針を公表し、基本方針に基づく具体的な高さ制限の案を作成公表するなど都市計画手続きを進め、平成25年度に都市計画決定を予定している。
		決算	2,645	
2	景観道路事業  [道路課]	予算 決算	131,730 104,739	早期事業化路線のうち、市道第308号線について電線共同溝工事を行った。また、市道第151号線について電線類地中化の詳細設計を行った。

### 2 利用者の視点と発想を重視するまちづくり

3	環境舗装事業  [道路課]	予算	167,700	生活道路改修の際に透水性舗装を施工し、雨水の流出抑制や地下水涵養を行った。 ・15路線 施工延長3,040m L形工1,760m 舗装面積10,443㎡
		決算	198,387	
4	公共サインガイドライン策定  [まちづくり推進課]	予算 決算	2,500 2,992	「どこでも、誰もが、移動(利用)しやすく、わかりやすい」というユニバーサルデザインの考え方にに基づき、市内の公共空間に設置される歩行者用の公共サインの統一性を図ることを目的とし、武蔵野市公共サインガイドラインを策定した(平成24年4月策定)。

### 3 上水道の整備・充実

5	配水管網整備の推進  [工務課]	予算	476,245	平時はもとより災害時にも安全でおいしい水の安定供給を確保するために、新設及び耐震性に劣る配水管(鋳鉄管、ビニール管)を耐震性ダクタイル鋳鉄管に取り替え、配水管網の整備を図った。 【工事内容】 ・配水管新設工事 (6件) 1,244m ・配水管(鋳鉄管)改良工事 (5件) 1,292m ・配水補助管改良工事 (15件) 3,403m
		決算	434,214	
6	浄水場・取水施設改良工事  [工務課]	予算 決算	188,550 175,358	円滑で効率的な水運用のため、経年劣化した浄水場施設配水ポンプ更新工事を行うとともに、安定的な取水量を確保するため深井戸の更生工事を行い、安全でおいしい水の安定供給を図った。 【工事内容】 ・第一浄水場1系配水ポンプ更新工事(電気設備) ・第一浄水場1系配水ポンプ更新工事(機械設備) ・16水源更生工事 ・18水源更生工事 外3件

### 4 下水道の再整備

7	臭気対策支援事業  [下水道課]	予算	1,500	悪臭の原因となる地下排水槽(ビルピット)の、改修改善に係る費用の一部を助成し、臭気の軽減を図った。 ・申請件数 1件
		決算	500	

8	公共下水道管渠現況調査・ 清掃委託  [下水道課]	予算 決算	52,000 40,208	道路陥没事故や閉塞による悪臭等を未然に防ぐため、下水道本管、取付管の損傷や土砂等の堆積物の調査及び清掃を行った。 ・管きょ等清掃 8,742m、管きょ等調査 50,957m
9	長寿命化計画策定  [下水道課]	予算 決算	10,000 4,935	本市下水道の大きな課題である下水道施設の老朽化対策を円滑に進めるため、施設の延命対策、ライフサイクルコスト、更新時期の平準化などを定めた下水道長寿命化計画を策定した。
10	合流式下水道改善事業  [下水道課]	予算 決算	480,868 299,831	善福寺川流域の水環境等の向上並びに下流の浸水被害低減を図るため、吉祥寺東町四丁目地内に貯留規模 1,200 m <sup>3</sup> の合流改善施設築造工事に着手した。吉祥寺東町一丁目地内には、本体工事前の防音壁設置工事を竣工した。
11	下水道建設負担金  [下水道課]	予算 決算	62,429 39,630	本市が排出する汚水の処理を依頼している東京都の水再生センター及び関連下水道幹線等の施設に係る建設費を負担した。
12	公共下水道建設事業  [下水道課]	予算 決算	73,900 63,460	鉄道連続立体交差事業に伴う側道（武鉄中付 1 号線）及び都市計画道路 3・4・24 号線などの管きょ築造工事及び公共汚水ます増設工事を行った。
13	雨水貯留浸透施設設置事業  [下水道課]	予算 決算	55,800 49,146	大雨による浸水被害軽減のために、第一小学校に 500 m <sup>3</sup> の雨水貯留浸透施設を設置した。

## 5 道路ネットワークの整備

14	八丁地下道警報表示システム設置  [道路課]	予算 決算	12,000 11,340	突発的なゲリラ豪雨時の道路冠水情報を道路利用者へ伝え注意喚起を促すため警報表示板 2 基を設置した。道路冠水の危険がある場合は「冠水注意」、道路冠水が生じた場合には「通行止め」を赤色で点滅表示する。
15	道路新設改良事業  [道路課]	予算 決算	324,400 333,750	経年劣化した主要道路等を改修整備した。三鷹駅北口駅前広場については、公共交通利用者の利便性向上を図るため、地域住民の意見を踏まえ、整備プランを作成し、事業を実施した。 ・8 路線 施工延長 2,117m L 形工 1,753m 舗装面積 18,634 m <sup>2</sup>
16	都市計画道路 3・4・27 号線事業  [道路課]	予算 決算	31,634 10,457	武蔵野プレイスの平成 23 年 7 月オープンに合わせて暫定整備工事を行った。
17	都市計画道路 7・6・1 号線（御殿山通り）事業  [道路課]	予算 決算	123,350 112,047	玉川上水沿いの御殿山通りの三鷹橋～むらさき橋間について用地買収及び仮整備を行った。用地買収実績 1 件 161.85 m <sup>2</sup> 。事業化に向け電線共同溝詳細設計を行った。
18	区画道路整備事業  [道路課]	予算 決算	87,900 88,341	事業進捗中の区画道路 13 路線の用地買収を推進した。用地買収実績 1 件 889.07 m <sup>2</sup> 。市道第 16 号線及び市道第 79 号線等について道路用地の測量及び仮整備を行った。

19	狭あい道路拡幅整備事業  [道路課]	予算	49,658	建築行政と連携して狭あい道路を拡幅し、地域の交通の円滑性、防災性等の向上を図った。 ・整備延長 2,617m 整備面積 890㎡
		決算	48,810	

## 6 安全で円滑な交通環境の整備

20	武蔵境駅周辺鉄道高架下駐輪場整備  [交通対策課]	予算	4,000	武蔵境駅周辺の放置自転車対策として、鉄道高架下に暫定駐輪場を整備した。 ①武蔵境駅東高架下暫定自転車駐車場 ・収容台数：自転車 297 台 ②武蔵境駅西高架下暫定自転車駐車場 ・収容台数：自転車 1,537 台、原付 80 台 ③サンパーク武蔵境駅高架下自転車等駐車場 ・増設台数：自転車 995 台 (既存収容台数：自転車 1,002 台、原付 68 台)
		決算	2,721	
21	吉祥寺駅周辺自転車放置防止の強化  [交通対策課]	予算	47,218	吉祥寺大通り等歩道上に、東京都緊急雇用創出事業補助金を活用し、重点的に放置防止指導員を配置した。放置防止指導の強化により、放置自転車が減少した。 ・放置自転車台数 (10月平日、晴天、午前11時) 平成22年度390台 → 平成23年度201台 (△189台)
		決算	47,216	
22	ムーバス運行事業  [交通対策課]	予算	92,122	市内にあるバス交通空白・不便地域の解消を図るため、ムーバスを運行した。 ムーバス利用実績 年間乗客数／1日平均乗客数 総合計 2,622,181人／7,164.5人 吉祥寺東循環 389,471人／1,064.1人 吉祥寺北西循環 601,276人／1,642.8人 境南東循環 197,775人／540.4人 境南西循環 292,087人／798.1人 三鷹駅北西循環 286,606人／783.1人 境西循環 270,912人／740.2人 境・東小金井線 192,413人／525.7人 三鷹・吉祥寺循環 263,887人／721.0人 境・三鷹循環 127,754人／349.1人 パークアンドバスライド駐車場「ムーパーク」 収容台数：71台 年間利用台数：22,619台 1日平均：61.8台 (土日休1日平均：84.9台)
		決算	90,507	
23	ムーバス・交通ICカードの導入  [交通対策課]	予算	38,530	公共交通機関で一般化されている交通ICカードでの乗車を可能とするため、「武蔵野市地域公共交通活性化協議会」に交付される国費を活用し、ムーバス車両全18台の車載機の整備・改修、バス事業者のメインサーバーの改修等を行った。 運用開始日：平成24年3月26日
		決算	21,685	

## 7 住宅施策の総合的展開

24	住み替え支援事業  [住宅対策課]	予算	1,422	高齢者世帯住宅を子育て世帯へ誘導するなど、高齢者の居住支援や子育て世代の増加を図る。開発公社へ住み替え支援受付窓口を開設した。
		決算	1,422	

## 8 住宅とまちの防災対策の推進

25	建築物耐震性相談事業 [住宅対策課]	予算	1,260	建築物所有者に対し、耐震性等の構造に関する無料相談窓口を開設した。 ・窓口開設日数 23 日、相談件数 70 件
		決算	1,159	
26	民間住宅耐震診断助成事業 [住宅対策課]	予算	6,350	市内住宅の耐震化を促進するため、所有者が耐震診断を受ける場合に、その費用の一部を助成した。 ・木造 67 件、非木造 1 件、マンション 0 件、民間建築物 19 件
		決算	7,129	
28	民間住宅耐震改修助成事業 [住宅対策課]	予算	10,500	市内住宅の耐震化を促進するため、所有者が市の定める診断機関による耐震診断の結果に基づき耐震改修を行う場合に、その費用の一部を助成した。 ・木造 24 件、非木造 0 件、マンション 0 件
		決算	11,830	
29	安全・賑わいのまちづくり 促進型耐震助成 [住宅対策課]	予算	8,900	商業地の安全で賑わいのあるまちづくりを促進するため、商業地域などで昭和 56 年以前に建てられた民間非住宅建物のうち、新耐震基準を満たさないものに対し、耐震補強や建替えなどの費用の一部を助成する制度。 ・助成件数 0 件
		決算	0	
30	緊急輸送道路沿道建築物耐震化助成事業 [住宅対策課]	予算	0	特定緊急輸送道路に係わる沿道建築物の倒壊による道路の閉塞を防ぎ、広域的な避難路及び輸送路を確保するため、対象建築物の耐震診断に対する助成をした。 ・助成件数 4 件
		決算	5,102	
31	家具転倒防止器具普及事業 [防災課・高齢者支援課]	予算	978	東京都市長会が実施する家具転倒防止器具助成事業を活用し、家具転倒防止器具の購入・取付けを希望する世帯に対し、抽選により無料で配布・設置を行った。なお、65 歳以上の高齢者及び障害者に対しては、器具と取り付け作業費の全額を助成した。 ・高齢者等助成件数 197 件 ・一般助成件数 3,720 件
		決算	54,011	

## 9 吉祥寺圏の都市基盤整備

32	吉祥寺方式物流対策事業 [吉祥寺まちづくり事務所]	予算	1,200	吉祥寺のまちづくりの一環として立ち上げた吉祥寺方式物流対策委員会の自立と継続的な活動に向けて運営支援を行い、委員会を 4 回開催した。また、地元事業者等と協働で荷さばきルール徹底週間を 3 回実施した。
		決算	1,155	
33	都市計画道路 3・3・14 号線 (南口駅前広場) 事業 [吉祥寺まちづくり事務所]	予算	53,000	都市計画道路 3・3・14 号線 (南口駅前広場) の用地買収及び整備に向けて、用地測量等を実施した。
		決算	1,812	

## 10 中央圏の都市基盤整備

34	三鷹駅北口地区の再整備方針の検討 [まちづくり推進課]	予算	500	三鷹駅北口周辺地区の全体に及ぶ都市機能の配置や地域の活性化、地区内に多く散在する市有地を含む低・未利用地の適切な土地利用等、幅広い視点から将来的なまちづくりの方針について、今後設置を予定する外部の検討委員会での検討に必要な基礎資料を作成した。
		決算	1,991	

## 11 武蔵境圏の都市基盤整備

35	武鉄中付第1、第2、第3号線整備事業 [道路課]	予算 決算	197,000 71,763	武鉄中付第1～3号線の電線類地中化詳細設計及び武鉄中付第1・2号線の電線共同溝設置工事を行った。
36	鉄道立体交差事業 [まちづくり推進課]	予算 決算	209,763 495,008	東京都に対し連続立体交差事業負担金を支出した。 西武多摩川線：平成18年12月に高架化工事完了。 JR中央本線：三鷹～国分寺間高架化工事のうち、下り線は平成19年7月に完了。上り線は平成21年1月に完了。国分寺～立川間高架化工事のうち、下り線は平成21年1月に完了。上り線は平成22年11月に完了。引き続き駅舎工事を施工中。また、側道整備中（平成23年度武鉄1用地取得）。平成25年度末に事業完了予定。
37	都市計画道路3・3・23号線事業 [武蔵境開発事務所]	予算 決算	13,000 5,985	武蔵境駅北口の歩行者の安全や円滑な交通処理の実現と武蔵境駅らしい駅前空間を創出するため、関係機関との協議・調整を行うと共に、北口広場の基本計画を作成した。また、基本計画や事業の現状等を広く市民に周知するため、まちづくり説明会を開催した。
38	武蔵境地区区画道路整備事業 [武蔵境開発事務所]	予算 決算	67,100 33,724	武蔵境駅の東西地区の適正な土地利用の促進と防災機能の向上を図るため、市道291号線（第3工区）の電線共同溝及び道路整備工事を行った。また、市道261号線（グリーンモール）東側の旧五宿踏切交差点信号機設置に伴う、安全施設の改修工事を行った。
39	武蔵境駅周辺環境整備事業 [武蔵境開発事務所]	予算 決算	7,217 7,002	駅舎連続施設（北側）、南側コーナー屋根、高架下屋根の新築に伴う、詳細設計及び建築許可申請を行った。また、武蔵境駅舎・広場・街づくり協議会への側面支援を行った。
40	都道123号線拡幅整備事業 [武蔵境開発事務所]	予算 決算	25,300 23,114	東京都の「新みちづくり・まちづくりパートナー事業」により都道123号線境調布線の拡幅整備を行っており、継続路線（南北）は鉄道高架下区間に電線共同溝の設置工事を行った。また、新規路線（東西）は道路拡幅予定地の用地測量及び道路予備設計を行った。

## V 行・財政

### 1 市民パートナーシップの積極的推進

(金額欄における予算は当初予算を計上)

1	市民と市長のタウンミーティング  [市民協働推進課]	予算 決算	1,334 732	市民が主役の市政を進めるため、平成23年度は6回のタウンミーティングを開催した。地域の課題や市政全般について意見交換を行う地域別タウンミーティングを、コミュニティ協議会と共催で3回開催した。また、テーマ別タウンミーティングとして市民社協と共催による「災害に強いまちづくり」及び市内大学と共催による「武蔵境のまちづくり」を開催した。他に青空タウンミーティングを1回開催した。
2	市民活動促進基本計画（仮称）策定  [市民協働推進課]	予算 決算	5,368 5,534	現行「NPO活動促進基本計画」に続く「市民活動促進基本計画」（平成24～33年度）を策定した。 ・市民活動促進基本計画（仮称）策定委員会を6回開催した他、市民活動団体実態調査、庁内アンケート、職員グループインタビュー、「中間のまとめ」パブリックコメント、「中間のまとめ」市民ヒアリングを実施した。
3	市民協働推進事業  [市民協働推進課]	予算 決算	5,184 4,324	行政との協働や、NPO・市民活動団体同士の協働・交流等を促進するための事業の企画・実施を、中間支援を目的としたNPO・市民活動団体に委託した。サロンカフェ、協働推進のための市民学習会、協働のいろは講座、協働事業報告会、市民協働推進に関する相談コーナーなどを実施した。 ・参加者数延 662人

### 2 市民ニーズに応えるサービスの提供

4	国民健康保険税収納管理システム改修  [保険課]	予算 決算	10,834 11,463	情報セキュリティの強化及び市民からの問い合わせ対応等サービス向上を図るため、平成2年から使われていたシステムから移行した。今まで紙管理していた各個人の折衝記録をシステム上で確認できるようになり、問い合わせ対応の際の速度等が向上した。
5	電子自治体共同運営  [情報管理課・管財課]	予算 決算	11,607 11,416	東京都と市区町村の共同運営による電子申請サービス及び電子調達サービスを利用し、電子申請については、携帯電話を含む18の手続きを電子申請化し、自転車安全利用講習会、誕生記念樹、歯科健康診査、胃がん検診、骨粗しょう症予防教室、オルガンワンダーランドなど1,580件の申込があった。 電子調達については、工事59件、委託245件、物品102件、計406件（不調含む）の電子入札を行った。

### 3 積極的な情報発信と情報セキュリティの徹底

6	インターネットによる議会中継（録画による配信等）  [議会事務局]	予算 決算	5,760 5,396	広く市民に議会審議の様態を伝えるため、本会議、予算・決算・第五期長期計画審査特別委員会のインターネット中継を行った。 ・アクセス数16,254件（うち録画 4,703件）
7	議会だより発行  [議会事務局]	予算 決算	6,504 5,385	年6回発行（定例会4回、臨時会2回、4色刷、延べ30頁／499,500部印刷、延483,163部全戸配布）
8	ホームページ運営  [広報課]	予算 決算	13,601 9,459	見やすさ・分かりやすさ、アクセシビリティ（利便性）の向上、災害・重大情報提供などの改善を目的に、平成23年8月にホームページをリニューアルした。また、10月には子ども向けホームページとして「むさしのキッズページ」を開設した。

9	季刊誌発行 [広報課]	予算 決算	13,482 12,571	市政や地域の情報をわかりやすく掘り下げて紹介するため四半期ごとに季刊誌を発行した。公共施設や商業施設で配布するほか、市内在住・在学の全中学生に配布をした。
10	緊急情報メール配信 [広報課]	予算 決算	0 1,298	防災情報および安全情報を登録者に電子メールで配信するシステムを構築し、平成23年7月からサービスを開始した。配信情報は履歴一覧からの確認も可能とした。

#### 4 健全な財政運営の維持

11	市有施設非構造部材等状況調査 [施設課]	予算 決算	0 6,720	公共施設の天井、吊り物重量、設備機器等の非構造部材について点検を行った。
12	施設整備計画立案のための公共施設外壁調査 [施設課]	予算 決算	2,423 2,126	今後の施設劣化保全整備計画に役立てるため、公共施設の外壁で目視による劣化状況の判断が難しいタイル仕上げ等の建物について赤外線調査を行った。
13	公共施設改良保全整備 [施設課]	予算 決算	74,518 54,299	改良保全(安全・福祉・環境性能等向上整備)のうち「エレベーター地震時閉じ込め防止」「高齢者施設火災予防対策」「保育園・中学校の防火シャッター挟まれ防止」を実施した。
14	公共施設劣化保全整備 [施設課]	予算 決算	660,282 507,391	劣化調査の結果に基づき保全整備を実施し、施設の機能維持及び延命化を図った。 【工事実施施設】 市民文化会館、市庁舎、コミセン、消防分団、保育園、乳幼児施設、福祉施設、小学校、中学校、市民会館、調理場、図書館

#### 5 時代の変化に対応する柔軟な行政運営

15	例規類集・要綱集管理システム再構築 [自治法務課]	予算 決算	15,570 7,959	職員の法務能力の向上及び業務の円滑化並びに市民サービスの向上を図るため、法制支援面をより充実させたシステムへの入替えを行った。入替えに伴い、要綱をシステムに掲載するとともに、各課において判例検索ができるよう改善を図った。
16	第五期基本構想・長期計画策定 [企画調整課]	予算 決算	14,128 8,503	前年度公表の討議要綱に対する意見を踏まえ、策定委員会で計画案を策定、公表、以下の会議やパブリックコメントを経て、市長へ答申した。その後、市政運営の基本理念、施策の大綱の市議会議決を経て、第五期長期計画(計画期間：平成24年度～平成33年度)が成立した。 ・策定委員会(第8～16回、市議会全員協議会1回を含む) ・圏域別市民会議(三圏域各1回) ・無作為抽出市民ワークショップ(2日間1回、参加者人数延188人) ・庁内推進本部会議(第5、6回) 計画策定においてワークショップに参加した方を対象に、成立した長期計画の内容を紹介するとともに、「コミュニティ・地域のあり方」「自治のあり方」をテーマにワークショップを行った(1日間1回、参加者66名)。

17	住民情報系システム再構築  [情報管理課]	予算 決算	31,500 14,175	住記・税・国保等の住民情報系システムについて、業務やシステムの最適化を図るため、統合パッケージによる再構築に着手した。23年度は調達支援事業者を選定し、各業務主管課にヒアリング等を行い、調達仕様書を作成した。
18	市民雇用創出事業  [人事課・教育企画課]	予算 決算	667,188 617,241	市の業務を見直し、ワークシェアリングと求職者の生活支援を目的に市民の雇用を創出するという観点から嘱託職員の任用を行った。職員の定数適正化計画の実施とあわせ、庁内各課との調整を行い、中高年齢者及び障がい者を対象として、平成24年3月1日現在で33課56職種212人の嘱託職員を任用した(教育委員会を含む)。また、平成24年3月1日現在、本市独自の緊急雇用対策として、11課11職種18人の嘱託職員を任用した。

## Ⅱ 平成 23 年度基金の運用状況を示す書類

地方自治法第 241 条第 5 項の規定に基づき、平成 23 年度の基金の運用状況を報告します。

武蔵野市長 邑上守正

1 平成23年度国民健康保険高額療養費貸付金運用状況

(1) 年度開始現在高

(単位：円)

繰越現金	貸付未収金	未払金	計 (運用金)
5,000,000	0	0	5,000,000

(2) 運用状況

ア 現金収支の状況

(単位：円)

月別	収入額		支出額		差引残額
	収入額	累計	支出額	累計	
前年度繰越額		5,000,000		0	5,000,000
4	0	5,000,000	0	0	5,000,000
5	0	5,000,000	0	0	5,000,000
6	0	5,000,000	0	0	5,000,000
7	0	5,000,000	0	0	5,000,000
8	0	5,000,000	0	0	5,000,000
9	0	5,000,000	0	0	5,000,000
10	0	5,000,000	0	0	5,000,000
11	0	5,000,000	0	0	5,000,000
12	0	5,000,000	0	0	5,000,000
1	0	5,000,000	0	0	5,000,000
2	0	5,000,000	0	0	5,000,000
3	0	5,000,000	0	0	5,000,000
計	0		0		

イ 利子収入の状況

(単位：円)

上半期預金利子	498
下半期預金利子	498
計	996

(注) 上記の利子収入は、一般会計(15財、1財、2利、1利)へ納付

ウ 未収金及び未払金の状況

(単位：円)

未 収 金	未 払 金	差引債権額
0	0	0

(3)運用結果

(単位：円)

区 分	次年度繰越額
現 金	5,000,000
貸付未収金	0
未 払 金	0
計 (運用金)	5,000,000

2 平成23年度国民健康保険出産費資金貸付金運用状況

(1) 年度開始現在高

(単位：円)

繰越現金	貸付未収金	未払金	計 (運用金)
5,000,000	0	0	5,000,000

(2) 運用状況

ア 現金収支の状況

(単位：円)

月別	収入額		支出額		差引残額
	収入額	累計	支出額	累計	
前年度繰越額		5,000,000		0	5,000,000
4	0	5,000,000	0	0	5,000,000
5	0	5,000,000	0	0	5,000,000
6	0	5,000,000	0	0	5,000,000
7	0	5,000,000	0	0	5,000,000
8	0	5,000,000	0	0	5,000,000
9	0	5,000,000	0	0	5,000,000
10	0	5,000,000	0	0	5,000,000
11	0	5,000,000	0	0	5,000,000
12	0	5,000,000	0	0	5,000,000
1	0	5,000,000	0	0	5,000,000
2	0	5,000,000	0	0	5,000,000
3	0	5,000,000	0	0	5,000,000
計	0		0		

イ 利子収入の状況

(単位：円)

上半期預金利子	498
下半期預金利子	498
計	996

(注) 上記の利子収入は、一般会計(15財、1財、2利、1利)へ納付

ウ 未収金及び未払金の状況

(単位：円)

未 収 金	未 払 金	差引債権額
0	0	0

(3)運用結果

(単位：円)

区 分	次年度繰越額
現 金	5,000,000
貸付未収金	0
未 払 金	0
計 (運用金)	5,000,000

3 平成23年度高額介護等サービス費貸付金運用状況

(1) 年度開始現在高

(単位：円)

繰越現金	貸付未収金	未払金	計 (運用金)
5,000,000	0	0	5,000,000

(2) 運用状況

ア 現金収支の状況

(単位：円)

月別	収入額		支出額		差引残額
	収入額	累計	支出額	累計	
前年度繰越額		5,000,000		0	5,000,000
4	0	5,000,000	0	0	5,000,000
5	0	5,000,000	0	0	5,000,000
6	0	5,000,000	0	0	5,000,000
7	0	5,000,000	0	0	5,000,000
8	0	5,000,000	0	0	5,000,000
9	0	5,000,000	0	0	5,000,000
10	0	5,000,000	0	0	5,000,000
11	0	5,000,000	0	0	5,000,000
12	0	5,000,000	0	0	5,000,000
1	0	5,000,000	0	0	5,000,000
2	0	5,000,000	0	0	5,000,000
3	0	5,000,000	0	0	5,000,000
計	0		0		

イ 利子収入の状況

(単位：円)

上半期預金利子	400
下半期預金利子	456
計	856

(注) 上記の利子収入は、一般会計(15財、1財、2利、1利)へ納付

ウ 未収金及び未払金の状況

(単位：円)

未 収 金	未 払 金	差引債権額
0	0	0

(3)運用結果

(単位：円)

区 分	次年度繰越額
現 金	5,000,000
貸付未収金	0
未 払 金	0
計 (運用金)	5,000,000

